

社会（社会学／理論・実証研究）

組織の存立構造論と両義性論

社会学的理論の重層的探究

船橋晴俊著

ISBN 978-4-88713-992-3 C3036 [2010] A5・264頁・2500円

社会学固有の組織存立論と両義性論の重層的組合せが提示する、政策科学革新への堅固な理論的基盤。

【主要目次】序章 本書の課題と構成 1.組織の存立構造論 2.協働連関の両義性—経営システムと支配システム 3.社会構想と社会制御 4.社会学理論の三水準 5.「理論形成はいかにして可能か」を問う諸視点 結び

社会的自我論の現代的展開

船津衛著

ISBN 978-4-7989-0093-3 C3036 [2012] 四六・240頁・2400円

創発的内省による自己の役割生成を通じ分裂した自我の再構成へ。現代自我論のダイナミックな展開。

【主要目次】序章 現代人の自我のゆくえ 1.社会的自我の形成 2.社会的自我とコミュニケーション 3.社会的自我と社会的感情 4.社会的自我のナラティブ構成 5.社会的自我と創発的内省 終章 創発的内省による自我と社会の新たな形成に向けて

自立と支援の社会学

阪神大震災とボランティア

佐藤惠著

ISBN 978-4-88713-949-7 C3036 [2010] A5・232頁・3200円

「媒介を介しての自立」観を通じ、特に障害者を焦点に限界状況下における自立と支援の問題を考察。

【主要目次】序章 自立と支援 1.自立支援のリアリティ 2.「出会い」の創出 3.自己レイベリングからの脱出 4.自己決定の相互性—アドボカシー再考 5.「支え合い」の技法—ミッションの再帰性 6.弱連結ネットワーク 7.「市民の共感」に向けて 8.行政との関係—対決ではなく内側から

自立支援の実践知

阪神・淡路大震災と共同・市民社会

似田貝香門編著

日本地域社会学会賞(2008年度)

ISBN 978-4-88713-797-4 C3036 [2008] A5・376頁・3800円

今日なお活動を続行している災害支援者たちに密着し、実践に鍛えられたその思想と方法を総括。

【主要目次】1.市民の複数性 2.再び「共同行為」へ 3.多様なボランティアが切りひらく新たな市民社会 4.被災者の固有性の尊重とボランティアの《問い直し》 5.職能ボランティアの成立と可能性 6.《居住の論理》に基づくコミュニティ形成、7.自立支援のリアリティ 8.《ひとりの人として》をめぐす支援の実践知

ボランティア活動の論理（改訂版）

ボランティアリズムとサブシステム

西山志保著

NPO学会奨励賞・日本都市社会学会若手奨励賞受賞(2006年度)

ISBN 4-88713-593-9 C3036 [2007] A5・288頁・3600円

「生の根源的な支えあい」の理念の下活動の一層の発展をめざす、数々の受賞に輝く白眉の論考。

【主要目次】第1部 市民活動研究の展開(市民活動の広がり)と研究課題 ほか) 第2部 阪神・淡路大震災が生みだした市民活動(大震災とボランティア活動の展開 ほか) 第3部 市民活動の国際比較研究(ボランティア組織から社会的企業へ) 第4部 市民活動研究の理論的課題(市民活動のアドボカシー機能・再考) ボランティアが切りひらく新たな市民社会

NPO実践マネジメント入門[第2版]

パブリックリソースセンター編

ISBN 978-4-7989-0096-4 C3036 [2012] A5・272頁・2500円

NPO・社会事業者のためのマネジメント体系書の決定版。NPO法人会計基準に対応した最新第2版。

【主要目次】I 戦略編：岐路に立つNPO 1.NPOで理想の社会を描く 2.社会変革とソーシャルビジネス 3.社会システムとしての市民セクター II 実践編：NPOマネジメント 1.ミッション・ベスト・マネジメント 2.ガバナンス 3.中期計画 4.ファンディング 5.人材開発 他4章 III 実務編：組織診断の実際 NPOマネジメント診断シート

市民による知の創造と発展

身近な環境に関する市民研究の持続的役割

萩原なつ子著

ISBN 978-4-88713-877-3 C3036 [2009] A 5・296頁・3200円

身近な問題解決を目指す「市民研究」の実例分析を通じ、新たな「市民知」誕生を告げる労作。

【主要目次】 1. 市民研究活動の位置づけ 2. 「市民研究コンクール」身近な環境をみつめよう」誕生の背景 3. 「市民研究コンクール」身近な環境をみつめよう」について 4. 市民研究コンクール本研究助成対象チームの活動概要と17チームの事例調査 5. 17チームの分析 6. 行徳野鳥観察会友の会 7. 元町倶楽部・函館の色彩文化を考える会 ほか

地球市民学を創る

地球社会の危機と変革のなかで

庄司興吉著

ISBN 978-4-88713-896-4 C3036 [2009] A 5・368頁・3200円

地球社会の課題に自ら進んで取組む地球市民一今必須のその育成に向けた学術の創成を告げる一冊。

【主要目次】 第一部 地球社会論から地球市民学へ 1. 地球社会論の背景 (I) 2. 地球社会論の背景 (II) 3. 地球社会論の背景 (III) 4. 地球社会論の構築 5. 地球市民学の構想 第二部 地球市民学の諸相 6. グローカル公共哲学と地球市民学 7. 地球公共財を創出する市民 8. マイノリティの自治と自決権 他5章

社会学の射程

庄司興吉著

ISBN 978-4-88713-874-2 C3036 [2008] A 5・320頁・3200円

新たな地球社会構築に向けたポストコロナリズムの意義を、著者初期の理論的論考をもとに考察。

【主要目次】 1. ポストコロナルな地球市民の社会学 2. 〈火の鳥〉を巡って 3. 人間における思考と思想 4. 社会的人間の思考と思想 5. 社会学の射程

個人化する社会と行政の変容

情報、コミュニケーションによるガバナンスの展開

藤谷忠昭著

ISBN 978-4-88713-903-9 C3036 [2009] A 5・320頁・3800円

個人化する社会の中新たな公共空間構築をめざす行政と住民の動態を、情報を機軸に追求・考察。

【主要目次】 I 本書の方針 1. 行政に対する社会学の射程 II 理論的検討 2. 「会話」的合理性 3. リベラル・デモクラシーの境界 4. システムとしての官僚制理論的検討のまとめ III 事例分析 5. 日常的広聴政策の効果 6. 制度的第三者の意義と課題 7. 全体社会の中での社会運動 8. インターネットによる市民活動の可能性 IV 結論 9. 住民と行政との関係

インターネットの銀河系

ネット時代のビジネスと社会

M. カステル著 矢澤修次郎・小山花子訳

ISBN 978-4-88713-886-5 C3036 [2009] A 5・352頁・3600円

技術は社会的実践によって変化するとその基本的視座の下、ITの全領域を貫き鋭利な考察を展開。

【主要目次】 1. インターネットの歴史から見えること 2. インターネットの文化 3. eビジネスとニューエコノミー 4. バーチャル・コミュニティとネットワーク社会 5. インターネットと政治 I 6. インターネットの政治 2. マルチメディアとインターネット 8. インターネットの地理 9. グローバルなデジタル・デバイド 結論

捕鯨問題の歴史社会学

近現代日本におけるクジラと人間

渡邊洋之著

ISBN 4-88713-700-1 C3036 [2006] A 5・224頁・2800円

詳細な歴史的分析に基づき文化論に装われた問題の政治性を的確に抉り、対立超克への展望を拓く。

【主要目次】 序章 本書の課題 1. 近代日本捕鯨業における技術導入と労働者 2. 経験の交錯としての暴動―「東洋捕鯨株式会社敷事業場焼き打ち事件」の分析 3. クジラ類の天然記念物指定をめぐって 4. 近代日本における鯨肉食の普及過程 5. 「乱獲の論理」を探る 終章 捕鯨問題における「文化」表象の政治性について

近代化のフィールドワーク

断片化する世界で等身大に生きる

作道信介編

ISBN 978-4-88713-839-1 C3036 [2008] A 5・224頁・2000円

世界各地及び日本で展開する、西欧的近代と異なる様々な近代に向けた多彩なフィールドワーク。

【主要目次】 序―近代化のフィールドワーク I アフリカ―牧畜民、焼畑農耕民、狩猟採集民の世界へ (I. アフリカの片田舎で近代について考える 他2章) II ハイモダニティーアトビー、恋愛、ホームレス (4. 医療化と脱医療化 他2章) III 日本の近代化 (7. 地方青少年にとっての学歴と社会移動 他1章)

貨幣の社会学

経済社会学への招待

森元孝著

ISBN 978-4-88713-787-5 C3036 [2007] A 5・176頁・1800円

貨幣の本質の追求と共に貨幣循環プロセスを通じて、戦後日本の経済と社会を見直す斬新な論考。

【主要目次】 第1講 ネオ・リベラリズムの時代-「聖域なき構造改革」 第2講 資本市場の構造転換-「失われた十年」 第3講 メディアとしての貨幣 第4講 市場と価格-数量主義の隠蔽と悲劇 第5講 貨幣と銀行 第6講 貨幣と共同体 第7講 貨幣と自由主義 結び-新しい貨幣の関係に向けて

教育社会史

日本とイタリアと

大転換期と教育社会構造 第1巻

小林甫著

ISBN 978-4-88713-984-8 C3036 [2010] A 5・816頁・7800円

(続刊)

第2巻 現代的教養Ⅰ・Ⅱ 生活者と技術者と

第3巻 学習力変革 地域自治と社会構築

第4巻 社会共生力 東アジアと成人学習

個人の伸長により従来型社会の超克をめざすライフロング・ラーニングの意義・理論・動態を詳論。

【主要目次】 序章 問題の所在 第1章 分析1: ライフロング・ラーニングのイタリア的展開 第2章 分析2: 日本近代国民国家の制度創出と再生産構造 第2章 補論 少年非行に対する市民社会の取り組みについて 一足立区綾瀬の少年Aと「猥褻誘拐・略取、監禁、強姦、殺人等」への道

社会階層と集団形成の変容

集合行為と「物象化」のメカニズム

丹辺直彦著

ISBN 4-88713-646-3 C3036 [2006] A 5・544頁・6500円

従来の階級論では捉えられぬ、現代における錯綜する階級格差を見据えた新たな集団形成の論理。

【主要目次】 階級論のパラドクス 第1部 マルクス階級論における集団形成と「物象化」(初期マルクスの階級把握と唯物論のプロブレマティーク ほか) 第2部 ヴェーバー社会学と階層的集団形成(ヴェーバー社会学の方法論と意味解釈 ほか) 第3部 階層的集団形成・集合行為と物象化(集合行為と階層的集団形成 ほか)

階級・ジェンダー・再生産

現代資本主義社会の存続メカニズム

橋本健二著

武蔵大学研究叢書 (no. 103)

ISBN 4-88713-497-5 C3036 [2003] A 5・240頁・3200円

社会と教育を貫く不平等再生産の「隠れたメカニズム」を鮮烈に照射。新たな現代国家・社会批判の書。

【主要目次】 序 Ⅰ部 文化的再生産の理論: 1. 文化としての資本主義資本主義の文化 (他2章) Ⅱ部 ジェンダーと家父長制の再生産: 4. 教育と家父長制の再生産 (他2章) Ⅲ部 階級構造と教育改革 7. 現代日本の階級構造と高校教育(他2章) Ⅳ部 再生産と国家装置

現代日本の階級構造

理論・方法・計量分析

橋本健二著

ISBN 4-88713-337-5 C3036 [1999] A 5・288頁・4300円

イデオロギー的バイアスを排し、新たな視点から、階級を社会分析の基礎要因として蘇らす力作。

【主要目次】 第1部 現代資本主義社会の階級構造(忘れられた概念-現代日本の階級研究 『共産党宣言』とMarx階級理論-呪縛を超えて ほか) 第2部 現代日本の階級構造-計量分析(戦後日本の階級構造-基本構造と変動過程 戦後日本の農民層分解 近代家族と社会諸階級 教育と階級構造-2つの再生産過程)

教育と不平等の社会理論

再生産論をこえて

小内透著

ISBN 4-88713-585-8 C3036 [2007] A 5・288頁・3200円

変容する社会状況と理論の成熟をふまえ、従来の再生産論が内包する宿命論的性格の超克をめざす。

【主要目次】 再生産論の位置と新たな視点 第1部 社会学の伝統と新たな社会把握の枠組み 第2部 階級・階層構造の形成原理とジェンダー・エスニシティ 第3部 階級・階層構造の社会的再生産と正当化のメカニズム 第4部 再生産様式の変容と展望

タリーズ・コーナー

黒人下層階級のエスノグラフィ

E. リーボウ著 吉川徹監訳

ISBN 4-88713-395-2 C3036 [2001] 四六・224頁・2300円

黒人下層階級に対する従来の偏見を、内面に分け入る優れた参与観察により払拭した記念碑的傑作。

(主要目次) 1. イントロダクション 2. 男たちと仕事 3. 子どものいない父親 4. 夫と妻 5. 愛する者と搾取する者 6. 友人とネットワーク 7. 結論 補論 フィールドでの経験を振り返って

ホームレスウーマン

知っていますか、わたしたちのこと

E. リーボウ著 吉川徹・轟里香訳

ISBN 4-88713-325-1 C3036 [1999] 四六・448頁・3200円

直截に描かれたその実態と人間的苦悩と希望の全て。米国第一線研究者による参与観察の傑作。

(主要目次) 女性たち、シェルター、日課 第1部 生序、女性たち、シェルター、日課 1部 生活上の諸問題：1. 日常 2. 労働と仕事 3. 家族 4. 世話する側・される側 II部 生きていく一心と体一：5. 友、神、自分自身 6. 共に暮らしていく 7. ホームレスについての考え方 (補) 彼女たちはいまどうしているか、他 訳者解説

世界システムの新世紀

グローバル化とマレーシア

山田信行著

ISBN 4-88713-652-8 C3036 [2006] A 5・304頁・3600円

グローバル化は従来の国際分業、世界システムをどう変えるか―現地調査を基盤に理論的に追究。

(主要目次) 序、グローバル化はなにをもたらすのか 1. 経済のグローバル化と国際分業の転換 2. 多国籍企業の戦略動向 3. 周辺社会における情報化戦略と多国籍企業 4. 半周辺化における国家 5. エスニシティ関係と国家政策 6. エスニシティとインフォーマル化 7. 労使関係の変容と労働者の技能形成 他3章

グローバル化と知的様式

社会科学方法論についての七つのエッセー

J. ガルトウング著 矢澤・大重訳

ISBN 4-88713-545-9 C3036 [2004] A 5・304頁・2800円

西欧的知的独裁を超え、世界の多様な知的様式の平和共存へ。著者自身の編集による世界初の出版。

(主要目次) 1 構造と文化と知的様式 2 演繹的思考と政治的实践 3 経験主義・批判主義・構成主義 4 不変性を探求する学問、不変性を打破する学問 5 道教的な社会科学認識論の構成原理 6 社会研究における理論形成 7 社会構造と学問構造 解説 ガルトウングの社会科学方法論

人間諸科学の形成と制度化

社会諸科学との比較研究

長谷川幸一著

ISBN 4-88713-653-6 C3036 [2006] A 5・608頁・3800円

「人間科学」の誕生と制度化の歴史を通じ、今日におけるその在るべき使命、位相への展望を開く。

(主要目次) 第1部 社会科学と人間科学の関係(社会科学と人間科学の境界をめぐる議論 人類学 人間学 人間科学) 第2部 社会科学方法論の展開とその隘路(社会科学における客観性と価値判断 ほか) 第3部 社会科学と人間科学の制度(経済学の制度化 人間科学の制度論) 残された課題

記憶の不確定性

社会学的探究

松浦雄介著

ISBN 4-88713-601-3 C3036 [2005] 四六・272頁・2500円

精神分析また哲学・文芸批評を横断し、故郷喪失や記憶の変容がもたらす現代の混迷を読み解く。

(主要目次) 1. 記憶と社会 2. 記憶の不確定性-フロイトとベルクソン 3. 忘却と笑い-後藤明生 4. 反復する身体-古井由吉 5. 成熟の探究-村上春樹 6. 記憶の充溢-津島佑子

覚醒剤の社会史

ドラッグ・ディスコース・統治技術

佐藤哲彦著

ISBN 4-88713-671-4 C3036 [2006] A 5・448頁・5600円

歴史的研究や政策論を超え、言説分析を核に描き出す、わが国初の人とドラッグの関わりの社会学。

(主要目次) 覚醒剤の社会史-ある奇妙な「何か」から考えはじめること 第1部 ドラッグ政策研究と方法論の検討 第2部 覚醒剤現象の研究 覚醒剤ディスコースと統治技術-何が思考されなかったのか

トクヴィルとデュルケーム

社会学的人間観と生の意味

菊谷和宏著

ISBN 4-88713-602-1 C3036 [2005] A 5・256頁・3048円

「社会」を対象に科学は可能か？社会学の存立基盤を、二人のパイオニアを通じ根源的に問う。

〔主要目次〕序章 先行研究について 1. アレクシス・ドゥ・トクヴィル 2. エミール・デュルケーム 3. 結論 あとがき

日常という審級

アルフレッド・シュッツにおける他者・リアリティ・超越

李晟台著

ISBN 4-88713-643-9 C3036 [2005] A 5・288頁・3600円

「社会学の哲学的基礎づけ」を追求し続けたシュッツを通じ、「日常」の意義・内容を精細に分析・考察。

〔主要目次〕序章 社会学の哲学的基礎づけとシュッツの書かれざる哲学 1. 超越論的現象学と社会学の哲学的基礎づけ 2. 方法論から日常世界論へ 3. 日常の中へ 4. 「近代」とミードの自我論 5. ミードにおける他者 終章 日常という主題の存在論的深化に向けてー行動から存在へ

権威の社会現象学

人はなぜ、権威を求めるのか

藤田哲司著

ISBN 978-4-7989-0066-7 C3036 [2011] A 5・472頁・4900円

「権威」を巡る知見を詳細に分析・整理し、人々に判断放棄を迫るそのメカニズムを的確に解明。

〔主要目次〕「人はなぜ、権威を求めるのか」をめぐって 序：本書のテーマと構成 1. 権威の発生 (1) 2. 「権威」の発生 (2) 3. 局面配列としての権威 4. 敬意対象としての権威 5. 3つの権威観 6. 私的判断放棄と現代社会 7. 敬意が排除を生み出すとき 結びー権威の動態的把握と高論要素の現代的意義

現代社会と権威主義

フランクフルト学派権威論の再構成

保坂稔著

ISBN 4-88713-538-6 C3036 [2003] A 5・304頁・3600円

先行研究を踏まえ、わが国になお強固な権威主義的風潮を詳細な調査のもと鋭く剔出した警世の書。

〔主要目次〕第1部 権威主義的性格研究の再検討 (フランクフルト学派における「権威主義的パーソナリティ」の位置づけをめぐって ほか) 第2部 権威主義的性格研究の新しい展開に向けて (『権威主義的パーソナリティ』を踏まえた権威主義的性格尺度の導入 権威主義的性格を理解するために ほか)

「伝統的ジェンダー観」の神話を超えて

アメリカ駐在員夫人の意識変容

山田礼子著

ISBN 4-88713-559-9 C3036 [2004] A 5・304頁・3800円

駐在員夫人即ち典型的専業主婦の意識変容の分析を通じ、伝統的母親神話に風穴をあける新研究。

〔主要目次〕第1部 理論編 (先行研究の検討) 第2部 伝統的ジェンダー役割を保持するシステムの批判的検討 第3部 ロサンゼルスでの日本人女性とその家族 第4部 調査研究編 第5部 10年後のアメリカ駐在員夫人 21世紀を迎えての女性たちの新たな生き方

ケリー博士の死をめぐるBBCと英政府の確執

イラク文書疑惑の顛末

蓑葉信弘著

ISBN 4-88713-573-4 C3036 [2007] A 5・80頁・800円

世界が注視した報道と権力の闘いの全容を、最新資料を交え生き生きと描き出したドキュメント。

〔主要目次〕1. イラク戦争の大義 (英政府九月文書 開戦から終戦へ) 2. ギリガン・リポートの告発 (トゥデーの放送 メール・オン・サンデーの記事) 3. 政府とBBCの死闘 (キャンベルの怒り ほか) 4. ハットン卿の「黒白」 (ハットン委員会 ほか) 5. 新しい出発 (経営委員長・会長の引責辞任 BBCの過ちと反省 ほか)

BBCイギリス放送協会 (第二版)

パブリック・サービス放送の伝統

蓑葉信弘著

ISBN 4-88713-398-7 C3036 [2002] 四六・288頁・2500円

世界の放送界をリードするBBCの全貌を活写し、好評の初版に新たな改革等最近の動きを増補。

〔主要目次〕1. 英公共放送の確立 2. 第二次大戦下のBBC 3. BBC放送独占の終焉 4. テレビの時代 5. 公共放送の危機ーサッチャーの登場 6. 危機回避と内部改革 7. ジャーナリズム精神の系譜 8. 経営委員会と受信許可料制度 9. デジタル時代の公共放送

情報・メディア・教育の社会学

カルチュラル・スタディーズしてみませんか？

井口博充著

ISBN 4-88713-498-3 C3036 [2003] A 5・176頁・2300円

教科書、新聞、テレビ等現代メディアの言説分析を通じて今日の情報を批判的に読む諸方法を追求。

(主要目次) 1. 情報とメディアの社会学 2. テキスト分析 3. 社会的言説の分析 4. コミュニティとメディアの役割 5. オルタナティブメディアとしてのコミュニティ・ラジオ 6. 幼児番組と商業主義 7. 子どもの政治参加とメディア・リテラシー 8. カルチュラル・スタディーズの展開

グローバル化の社会学

現代社会学における歴史と批判(上)

武川正吾・山田信行編

ISBN 4-88713-493-2 C3036 [2003] A 5・256頁・2800円

現代社会学の歴史を俯瞰し問題点を追求する上下巻。上巻はグローバル化に伴う問題に肉迫する。

(主要目次) 1. グローバル化時代の平和と安全 2. 『埋め込まれた経済』としての資本主義世界経済 3. 「ポスト新国際分業」と移民労働者 4. グローバル化の中の韓国企業と労組 5. グローバル化と在日コリアンのアイデンティティ 6. 「自分たちの土地へ」 7. 製品イノベーションの制度的多様性、他2章

近代資本制と主体性

現代社会学における歴史と批判(下)

片桐新自・丹田宣彦編

ISBN 4-88713-494-0 C3036 [2003] A 5・240頁・2800円

近現代を貫く一大テーマ、資本制下における人間の主体性の問題を理論と今日の実態から追求・考察。

(主要目次) 1. 資本制と家族政策 2. 少子化対策と家族政策転換の方向性 3. 非営利型社会活動(NPSA)の理論的検討 4. 初期水俣病運動における「直接性/個別性」の思想 5. 忘れられた参与観察のバイオニア 6. 「日本の生産システム」の普遍性/特殊性の検討 9. 体系の呪縛と不可能性、他2章

生活史の研究

中野卓著作集生活史シリーズ1

中野卓著

ISBN 4-88713-483-5 C3036 [2003] 四六・256頁・2500円

口述史から見えてくる個人を包含した社会の実態―「生活史学」の全容を示すシリーズ第1巻。

(主要目次) 個人生活史の方法論 個人の社会的調査研究について 村と村人個人の生活史 都市社会における生活史の研究 他者の自分史と自己の自分史 歴史的現実の再構成 私の研究生活史 学会連合と私の研究史 私のライフ・ヒストリー 「口述の生活史」の意味、ほか

先行者たちの生活史

中野卓著作集生活史シリーズ7

中野卓著

ISBN 4-88713-506-8 C3037 [2003] 四六・384頁・3200円

時代の感触と共に蘇る、恩師有賀、伯父中尾、父忠八らの出自・日常・業績が織り成す生の軌跡。

(主要目次) 1部 恩師有賀先生の生活史(主著刊行以前 主著 方法論 ほか) 2部 業屋万助・万七と中尾万三の生活史(業屋万助・万七の生活史-別家の創立と前史の創立後 中尾万三伯父の生活史-中国古陶磁学と本草学の先駆者) 3部 父中野七世忠八の生活史(出自より大正初期まで 出自から大正初期まで ほか)

殺すこと／殺されることへの感度

二〇〇九年からみる日本社会の行方

石原俊著

ISBN 978-4-7989-0026-1 C0036 [2010] A 5・120頁・980円

気鋭の社会学者が日本の過去・現在・未来に深く切り込み、いま本当とされる議論を縦横に提示する。

(主要目次) <2009年>から考え始める 1. 再帰的実践の回路の再構築 2. <暴力の移譲>に抗して 3. 主権のはてしない分散化・漏在化 4. ベーシック・インカムを試練 5. <運動体・賀川豊彦>を思考すること 6. いつまで矛盾を押しつけるのか 7. 転位する外国人管理と日本社会 8. 生の廃棄を加速する法 ほか

不自然な母親と呼ばれたフェミニスト

シャーロット・パーキンズ・ギルマンと新しい母性

山内恵著

平塚らいてう賞受賞(2009年度)

ISBN 978-4-88713-840-7 C3036 [2008] A 5・224頁・3200円

働く母親のための共同保育を！不自然な母親との批判の中毅然と戦った先駆者の生涯とその現代性。

(主要目次) 序章 シャーロット・パーキンズ・ギルマンと新しい母性 1. 病んだ母性の発見 2. 新しい母性の模索 3. 「ハーランド」、あるいは「ニュー・マザー」のユートピア 4. ギルマンのフェミニズム思想と日本の受容 エピローグ ギルマンの新しい母性と近代フェミニズムの課題

命かがやいて

被爆セーラー服のみみだ

大西知子

ISBN 978-4-7989-0031-5 C0095 [2011] A 5・88 頁・1200 円

「あの『ライフ』にのった写真は私です」一爆心地に居ながら奇跡的に原爆死を免れた女性が語る戦争と戦後。

(主要目次) 地の底の骨よ (映画監督 新藤兼人) 1. 被爆する前の私の家族とくらし 2. 被爆前日の八月五日 3. 被爆 (八月六日 月曜日) 運命の日 4. 被爆の翌日 (八月七日 火曜日) 5. 終戦日 (八月十五日 水曜日) 6. 昭和二十年 終戦の秋 7. 普通の日本人女性としての歩み 8. 心臓手術を乗り越えて 【取材を終えて】

ソーシャル・プランニング

市民生活の醸成を求めて

橋本和孝著

ISBN 4-88713-232-8 C3036 [1996] A 5・200 頁・2500 円

市民自治の立場から社会計画を理論、歴史より明確化し、福祉・消費者政策等諸分野を論述する。

(主要目次) 1 市民生活の基礎理論 2 社会計画論の形成 3 戦後日本の地域社会と社会計画の生成 4 生活環境条件の改善とグラスルーツ 5 市民生活と地域福祉 6 市民生活と消費者政策 7 アメニティとコミュニティ 8 自治・分権と社会計画

生活様式の社会理論 (増補版)

消費の人間化を求めて

橋本和孝著

ISBN 4-88713-199-2 C3036 [1994] A 5・368 頁・3495 円

世界を覆う個人主義的消費を超える新たな生活文化を求め、現代生活様式諸理論を根底から吟味する。

(主要目次) I. 現代生活様式論の展開: 序. 生活様式と社会計画、他2章 II. 現代日本の消費生活 (3章) III. 生活様式論の周辺 7. 都市的生活様式の探求、他1章 IV. 生活主体と生活研究の論理 (増補分) 1. 都市家族・生活様式・ライフステージ 2. 生活様式の創造と市民自治 3. 戦後日本の社会学と生活研究の展開

社会の発見

R. コリンズ・M. マコウスキー共著 大野雅敏訳

ISBN 4-88713-049-X C3036 [1987] A 5・368 頁・3200 円

社会の真の姿の把握をめざす近現代社会学の歩みを、思想的巨人の列伝体で活写した最良の教養書。

(主要目次) 1. パリの予言者たち 2. アングラ社会学 3. 最後の紳士 4. ニーチェの狂気 5. 社会改良家、進化理論者、人種差別主義者 6. ドレフュスの世界 7. 魔術的世界の解放 8. 非合理の征服者 9. 見えぬ世界の発見 12. ヒトラーの幻影、他5章

シリーズ・防災を考える

防災には様々な災害に向けたハード面での整備に加えて、防災・災害対策をどう組織化し運営するかというソフトウェアの充実が不可欠なことは、今回の東日本大震災でも明らかになった。本シリーズは主としてソフト面でのニーズに応えるため編まれているが、災害への対処の見直しが必要なことを痛感している国民、とりわけ自治体関係者必読のシリーズとなるだろう。

防災の社会学

防災コミュニティの社会設計に向けて

吉原直樹編

シリーズ防災を考える 1

ISBN 978-4-88713-881-0 C3036 [2009] A 5・256頁・3200円

既に「忘れた頃にやってくる」ものではなくなくなった災害—有効な対策とは。注目のシリーズ第1弾。

【主要目次】 1. 防災の思想(似田貝香門) 2. 防災をめぐるローカル・フレッジ(後藤一蔵) 3. 防災コミュニティと町内会(松井克浩) 4. 災害ボランティアと支えあいのしくみづくり(西山志保) 5. 被災者の生活再建の社会過程(今野裕昭) 6. 災害弱者の支援と自立(永井彰) 7. 防災ガバナンスの可能性と課題(吉原直樹) 8. 防災と防犯の間(菱山安輔・吉原直樹)

防災の心理学

ほんとうの安心とは何か

仁平義明編

シリーズ防災を考える 2

ISBN 978-4-88713-907-7 C3036 [2009] A 5・240頁・3200円

真の安心のため、住民と行政・組織・専門家間の信頼の構築が不可欠なことを事例を通じ力説。

【主要目次】 序 ほんとうの安心とは何か(仁平義明) 1. 災害時の情報伝達と意思決定(首藤由紀) 2. 原子力防災と市民の心理(北村正晴) 3. 災害とうわさ(サトウタツヤ) 4. 風評被害の心理(関谷直也) 5. 災害のフラッシュバルブメモリ(大上八潮・箱田裕司) 6. 自然災害でのヒヤリ・ハット事例(申紅仙) 他4章

防災の法と仕組み

生田長人編

シリーズ防災を考える 4

ISBN 978-4-88713-981-7 C3332 [2010] A 5・264頁・3200円

災害に立ち向かう法システムの全てを、予防、応急対策、復旧・復興等局面ごとに詳細に解説・考察。

【主要目次】 1. 防災に関する法制度の体系(生田長人) 2. 災害予防に関する制度の仕組み(西泉彰雄) 3. 災害発生時の応急対策のための制度の仕組み(原田賢一郎) 4. 災害復旧のための制度の仕組み(大森雅夫) 5. 災害復興のための制度の在り方(生田長人) 6. 防災法制の展開と今後の法的課題(下山憲治)

防災教育の展開

今村文彦編

シリーズ防災を考える 6

ISBN 978-4-7989-0055-1 C3337 [2011] A 5・180頁・3200円

被害最小化に不可欠だが、とかく形骸化し易い防災教育を有効化するための方策を多角的に展開。

【主要目次】 1. 自然災害リスクと防災教育(今村文彦) 2. 「生きる力」をはぐくむ防災教育(佐藤浩樹) 3. 夢みる防災教育(諏訪清二) 4. 地域の特性をふまえた防災ワークショップの実践(村山良之) 5. 地域と連携した防災教育(川本孝司) 6. 生涯学習の場面での防災教育の実践(佐藤健)

防災と都市・地域計画(続刊)

増田聡編

シリーズ防災を考える 3

防災の歴史と文化(続刊)

平川新編

シリーズ防災を考える 5

シリーズ社会学のアクチュアリティ：批判と創造

制度化された学に安住することなく、現代最先端の問題に正面から向き合い、社会学が失いかけているアクチュアリティの奪回を目指す。既成の知を疑い見つめ直す「批判」を武器に、現代に即した「創造」に向け、既刊7冊。

クリティークとしての社会学

現代を批判的に見る眼

西原和久・宇東宮京子編 シリーズ社会学のアクチュアリティ1

ISBN 4-88713-576-9 C3336 [2004] 四六・320頁・1800円

徹底した批判の眼で変容する社会を見つめ直し、現代のアクチュアリティに肉迫する新シリーズ第1弾。

【主要目次】序章 現代社会と批判的思考 1.歴史のなかの自我 2.ポストモダン社会と自己物語 3.若者文化のゆくえ 4.「長生き社会」という観点 5.危機の時代の社会学批判 6.政治社会の今を問う 7.情報社会の夢と現実 8.社会運動は社会を変えるか 終章 生活者の視線と社会学の問い

社会学のアーリーナへ

21世紀社会を読み解く

友枝敏雄・厚東洋輔編 シリーズ社会学のアクチュアリティ3

ISBN 978-4-88713-794-3 C3336 [2007] 四六・336頁・2200円

近代知の没落が叫ばれる今日、学としての社会学の立脚点を求め、その固有性と存在理由を追及。

【主要目次】序章 モダニティの社会学理論 1.社会学と社会システム論 2.社会学理論と社会病理 3.近代社会学の成立 4.フィールドワークから社会学理論の形成へ 5.生活政治の社会学 6.社会学と資本主義 7.社会学から見たグローバル化・地域統合・国家 8.グローバルイゼーションと人間の安全保障の興隆 終章 グローバリゼーションと社会学の未来

モダニティと空間の物語

社会学のフロンティア

吉原直樹・斉藤日出治編 シリーズ社会学のアクチュアリティ4

ISBN 978-4-7989-0053-7 C3036 [2011] 四六・352頁・2600円

現代居住空間を中心に世界大の視野で、モダニティの両義的・重層的な動態を縦横に分析・論究。

【主要目次】序章 モダニティの両義性と「時間-空間」の機制 1.生活時空間としての「場」 2.遠近法と調性の空間 3.住まうことの場所論 4.空間から場所へ 5.住まうことのメタファー 6.制度の失敗とローカル・ガバナンス 7.(ジェントリフィケーション下の)都市への権利 終章 空間論の新しい方法基準

言説分析の可能性

社会学的方法の迷宮から

佐藤俊樹・友枝敏雄編 シリーズ社会学のアクチュアリティ5

ISBN 4-88713-654-4 C3336 [2006] 四六・256頁・2000円

その意義と方法をめぐる錯綜した論議を整理し、社会科学の新たな武器としての可能性を追求する。

【主要目次】序章 関のありか-言説分析と「実証性」 1.言説分析とその困難 2.フーコーとマクルーハンの夢を遮断する 3.メディアが編む国家・世界そして男性 4.空白の正義 5.構築主義と言説分析 6.知識社会学と言説分析 7.言説分析と実証主義 終章 言説分析と社会学

都市社会とリスク

豊かな生活をもとめて

藤田弘夫・浦野正樹編 シリーズ社会学のアクチュアリティ8

ISBN 4-88713-581-5 C3336 [2005] 四六・352頁・2000円

現代社会が孕む光と影！その実態分析とともにリスク克服に必要・不可欠な意思と方策を問う。

【主要目次】序章 都市と社会の論理 1.経営文明と都市社会 2.都市生活の展開・変容とリスク 3.豊かな生活と消費生活 4.都市づくりと公共性 5.都市生活と生活環境変動 6.豊かさの代償 7.ホームレスと豊かな社会 8.災害と都市 終章 都市社会のリスクとその変容

グローバル化とアジア社会

ポストコロニアルの地平

新津晃一・吉原直樹編 シリーズ社会学のアクチュアリティ9

ISBN 4-88713-655-2 C3336 [2006] 四六・368頁・2300円

変貌を続けるアジア社会のグローバルとローカルが複雑に交差する位相を多角的に照射・分析。

【主要目次】序章 グローバル化とローカル化 1.ポストコロニアルと現代日本 2.アジアの都市化の新局面 3.アジアの都市・農村関係の変貌-インドネシアを中心に 4.都市中間層の動向 5.ポスト開発と国民統合・民主化 6.アジア社会の都市グラスルーツ 7.マニラのスクオッター 終章 モダニティとアジア社会

公共政策の社会学

社会的現実との格闘

武川正吾・三重野卓編 シリーズ社会学のアクチュアリティ 11

ISBN 978-4-88713-795-0 C3336 [2007] 四六・288頁・2000円

今や「公共政策からの逃亡」は学問の自殺だ。政策科学としての社会学の再興を目指す渾身の一冊。

【主要目次】序章 公共政策と社会学 1.社会計画と社会指標 2.地域福祉計画と参加 3.社会サービスの割当 4.権利・裁量・参加 5.介護サービスの分配の公正と政策評価 6.貧困の測定 7.ジェンダー・エンパワーメント 終章 政策評価と社会学

【続刊】

- | | | |
|------|--------------------|-------------|
| 第2巻 | 戦後日本社会学のリアリティ (近刊) | 池岡義孝・西原和久編 |
| 第6巻 | 日常世界を読み解く | 草柳千早・山田昌弘編 |
| 第7巻 | 絆の変容 | 山田昌弘・宮坂靖子編 |
| 第10巻 | 生命と環境の知識社会学 | 松本三和夫・藤田弘夫編 |
| 第12巻 | 社会構想の可能性 | 市野川容孝・武川正吾編 |
-

シリーズ世界の社会学・日本の社会学

タルコット・パーソンズ

最後の近代主義者

中野秀一郎著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-339-1 C3036 [1999] 四六・176頁・1800円

今復権が叫ばれている理論の精髓を的確に論考。代表的社会学者の本格的入門シリーズ第1弾。

(主要目次) 1. 人と時代と業績(若き日のパーソンズ パーソンズ理論の位置、他3節) 2. 理論展開と社会分析(社会的行為の理論 社会システムの理論、他3節) 3. 評価、影響、継承、および現代的意義(錯綜する評価 日本におけるパーソンズの受容、他7節) 業績一覧、略年譜、用語集

ジョージ・H・ミード

社会的自我論の展開

船津衛著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-352-9 C3036 [2000] 四六・176頁・1800円

ミード・ルネサンスと呼ばれたその自我論とは？理論の全容と現代社会学への影響を明解に論考。

(主要目次) 序章 ミード・ルネサンス 1. シカゴの民主的知識人ミード 2. ミードのプラグマティズムと「社会行動主義」 3. ミードの社会的自我論 4. ミードと現代社会学

ゲオルク・ジンメル

現代分化社会における個人と社会

居安正著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-351-0 C3036 [2000] 四六・208頁・1800円

現代社会の動態をいち早く見通し展開された多彩な営為の全貌を、的確な引用に基づき分析・紹介。

(主要目次) 1. 生涯と社会的背景 2. 社会学理論の展開(社会学への出発—「社会分化論」 形式社会学の成立と哲学的な領域—「社会学」、「貨幣の哲学」、「宗教」 社会学理論の完成—「社会学の根本問題」 概括) 3. 一面的な評価から新たな現代的評価へ 著者、参考文献、年表、他

アラン・トゥーレーヌ

現代社会のゆくえと新しい社会運動

杉山光信著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-373-1 C3036 [2000] 四六・208頁・1800円

仏5月革命をはじめ今日の社会運動の独自性の分析を軸に、現代を見通すその理論と活動の全容。

(主要目次) 1. 人と時代と活動(五月革命 新しい社会対立の出現？ 戦後の社会学の再建 第二左翼の立場) 2. 理論装置と社会運動論(理論装置 社会運動論 見直される社会運動論 新たな展開) 3. 評価と受容(人のつながりと広がり 古い図式の未来への投影？ 社会運動の理論をめぐって ポスト工業社会論の翻訳と紹介 ほか)

アルフレッド・シュッツ

主観的時間と社会的空間

森元孝著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-382-0 C3036 [2001] 四六・192頁・1800円

ナチスに追われ米国へ。激動のなか問い詰めた人間と社会に寄せる鋭利な思索のすべてを精細に論考。

(主要目次) 1. ウィーンからニューヨークへ(戦争と革命 ウィーン大学 共和国の終焉、他3節) 2. 社会的世界の構成の構想(ベルグソンの時代 パーソンズとの往復書簡 パースベクティブ論の意義、他3節) 3. 紹介、批判から国際的水準へ(4節) 業績一覧、アーカイブ、年譜、用語集

レイモン・アロン

危機の時代における透徹した警世の思想家

岩城完之著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-401-0 C3037 [2001] 四六・160頁・1800円

苛烈な現実と常に密接に関わりつつ、透徹した論理で今日の課題を追求し続けた思想家の全体像。

(主要目次) 1. 社会的背景と人・業績(生いたちから学生時代 迫りくる大戦と研究活動 戦時下の亡命生活とジャーナリズムへの道 ほか) 2. 理論展開の諸相(歴史的認識の視角 産業社会の展開と問題 知識人・イデオロギー批判と自由の問題 ほか) 3. 評価と課題(評価の特徴 アロンの残した課題)

エミール・デュルケム

社会の道徳的再建と社会学

中島道男著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-402-9 C3036 [2001] 四六・160頁・1800円

冷徹な分析の底に潜む社会の道徳的再建への熱情を、その現代的意義と共に浮彫にした白眉の入門書。

(主要目次) 1. デュルケムの生涯と著作(デュルケムの生涯と著作 デュルケム・ルネサンス) 2. 社会概念の展開(社会的事実の客観的実在性 認識論的障害物 ほか) 3. 現代社会の診断(拘束的分業論からアノミー論へ 職業集団の再建ほか) 4. デュルケムの現代性(公共哲学としての社会科学 デュルケムと現代)

フェルディナンド・テンニエス

ゲマインシャフトとゲゼルシャフト

吉田浩著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-485-1 C3036 [2003] 四六・160頁・1800円

絶賛と根底的批判が交錯するこの古典を徹底して読み解き、その現代的意義を批判的に考察した労作。

(主要目次) 1. テンニエスの生涯と『ゲマインシャフトとゲゼルシャフト』における問題意識(テンニエスの生涯 ほか) 2. ゲマインシャフトとゲゼルシャフト(相互肯定の関係 ゲマインシャフトの本質 ゲゼルシャフトの概念) 3. テンニエスの意志論(本質意識選択意志) 4. テンニエスとヘーゲル、マルクス(テンニエスとヘーゲル テンニエスとマルクス)

カール・マンハイム

時代を診断する亡命者

澤井敦著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-528-9 C3036 [2004] 四六・192頁・1800円

独裁政治、画一化社会を批判し新たな自由と統合への道を求め続けた「亡命の社会学者」の全貌。

(主要目次) 1. 時代を診断する亡命者(ブダペスト1893～1919 ハイデルベルク 1920～1930 フランクフルト1930～1933 ロンドン1933～1947) 2. 文化と知識の社会学(文化の解釈学 知識の社会学 ほか) 3. 近代を診断する社会学(知識人の社会学 近代の危機 ほか) 4. 「マンハイム解釈」という営み(受容史 ほか)

ロバート・リンド

アメリカ文化の内省的批判者

園部雅久著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 978-4-88713-830-8 C3336 [2008] 四六・160頁・1800円

精緻な小都市研究の奥に潜む強い実践的志向—現代消費文明への鋭い批判等を的確に分析・考察。

(主要目次) 1. 人と時代と業績 2. コミュニティ調査の展開と社会分析 3. 評価・影響・現代的意義、付録(業績一覧、邦文献、欧文献、略年表)

アントニオ・グラムシ

『獄中ノート』と批判社会学の生成

鈴木富久著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 978-4-7989-0036-0 C3336 [2011] 四六・208頁・1800円

その「実践の哲学」を基盤に浮かび上がる、社会の統合・更新の動態を見据えた強靱な社会学的考察。

(主要目次) 1. グラムシの生涯 2. 『獄中ノート』と本書の課題に関する予備提議 3. 『獄中ノート』体系の構造と「実践の哲学」 4. 集合体と個人・人間・人類 5. 歴史分析の理論枠組 6. 拡大された国家概念 7. 歴史分析の三次元方法論 8. 「アメリカニズム」分析の方法 終章にかえて 付録

奥井復太郎

都市社会学と生活論の創始者

藤田弘夫著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-361-8 C3036 [2000] 四六・176頁・1800円

人間を中心に据えた都市論と生活論—新たな知の開拓に挑んだ先駆者の全容を的確に浮彫りする。

(主要目次) 1. 奥井復太郎の人と業績 2. 都市と地域生活の社会学(都市へのまなざし 都市理論と都市社会学 社会調査と地域調査 都市地域構造論 都市社会学と都市文化論 町内会と地域組織論 都市計画と国土計画、他1節) 3. 評価と影響 単行本・主要論文、年表、他

新明正道

総合社会学の探究

山本鎮雄著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-372-3 C3036 [2000] 四六・176頁・1800円

その生涯が日本の社会学の形成と発展そのものであった代表的理論家の人と業績を総合的に紹介。

(主要目次) 1. 人と業績・その時代(生い立ち 光芒の東京帝大新入会 社会学者の誕生 ほか) 2. 総合社会学の探究(新明社会学への道 総合社会学の確立) 3. 新明社会学と現代社会学(社会学に対する私の立場 都市・地域の総合的研究と革新自治体 パーソンス社会学との対決 ほか)

米田庄太郎

新総合社会学の先駆者

中久郎著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-445-2 C3036 [2002] 四六・224頁・1800円

多彩な活動の再認を通じその体系化と総合化への理論的営為を、細分化著しい現代へ突きつける労作。

(主要目次) 1. 人と業績(長い在外生活一前後の経歴 社会学者としての米田 差別をめぐる問題) 2. 社会学の構成(業績の全貌 社会学体系の構築 隣接諸学との関係 総合社会学の展開) 3. 現代的意義(米田の直接の影響 現代社会学にとっての米田社会学の積極的な意義)

高田保馬

理論と政策の無媒介的合一

北島滋著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-468-1 C3036 [2002] 四六・160頁・1800円

欧米理論の演繹か、独自の日本型理論か? 一世を風靡した代表的社会学者の営為を鋭利に解析。

(主要目次) 1. 知への旅立ち(郷里三日月村遠の江と高田保馬 ほか) 2. 高田社会学の理論体系(高田社会学の理論を構成する基礎概念 高田社会学における基礎社会(共同社会)と派生社会(利益社会) 階級、社会、国家、そして第三史観 ほか) 3. 高田社会学をめぐる評価と戦争責任(高田社会学をめぐる評価の流れ ほか)

費孝通

民族自省の社会学

佐々木衛著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-519-X C3036 [2003] 四六・144頁・1800円

中国社会学の推進者として文革後もその再興を担った独自の理論と営為を初めて包括的に論考。

(主要目次) 1. 費孝通の人と社会学(費孝通の家族・バックグラウンド 中国社会学の展開と費孝通 ほか) 2. 費孝通の社会学理論(『生育制度』-マリノフスキー理論の継承と展開 『郷土中国』-基層社会の構造 ほか) 3. 現代社会学と費孝通(一九三〇・四〇年代のアジアの社会学 費孝通研究の今日的な意義 ほか)

戸田貞三

家族研究・実証社会学の軌跡

川合隆男著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 4-88713-522-X C3036 [2003] 四六・160頁・1800円

東大教授、日本社会学会会長等の社会的活動を含め、その多面的な知的遺産の批判的継承をめざす。

(主要目次) 1. 戸田貞三の生涯と歴史的背景(生い立ち 社会学との出会い、卒業論文「日本に於ける家の制度発達の研究」 ほか) 2. 家族研究と社会調査論の展開(戸田貞三の学問運動としての社会学ほか) 3. 知的遺産の批判的継承と現代社会学の地平(「日本社会学会を中心として」(一九四一年) ほか)

福武直

民主化と社会学の現実化を推進

蓮見音彦著 シリーズ世界の社会学・日本の社会学

ISBN 978-4-88713-875-9 C3336 [2008] 四六・168頁・1800円

戦後社会大変動の時期、「現実科学」としての社会学の展開を主導した、その営為を総合的に考察。

(主要目次) 1. 生涯と時代背景 2. 研究の特質 3. 戦後日本社会学の展開と福武社会学 資料

開発と地域変動

開発と内発的発展の相克

北島滋著

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-307-3 C3036 [1998] A 5・240頁・3200円

苛烈な地域構造変動の軌跡の中に、今日の高度工業国家における「内発的発展」の論理を読む。

(主要目次) はじめに 序章 開発問題・開発論と内発的発展
1章 地域分析の方法的展開 2章 開発と国際化 3章 東京圏の拡大と地域変動 4章 中都市における企業集団化と地場産業の形成 5章 基幹産業の崩壊と地域変動 終章 転換期の地域と住民生活

在日華僑のアイデンティティの変容

華僑の多元的共生

過放著

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-324-3 C3036 [1999] A 5・336頁・4400円

同国人による詳細な調査が初めて明らかにした、結婚・帰属意識の実態と多様な共生への志向。

(主要目次) 1. 課題と方法 2. 初期在日華僑社会 3. 近現代華僑社会の展開と変貌 4. 婚姻をめぐる変容 5. アイデンティティの変容 6. 阪神大震災と在日中国人コミュニティ 終. 共生社会の展望 参考文献、巻末資料(アンケート報告、調査事例等)

健康保険と医師会

社会保険創始期における医師と医療

北原龍二著

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-338-3 C3036 [1999] A 5・326頁・3800円

創始期に遡り、日本の医療が固持する「家業性」と社会保険本来の公共性との矛盾相克を鋭く剔出。

(主要目次) 1. 健康保険制度 2. 健康保険制度における医療機関 3. 健康保険制度準備期の医師団体 4. 医師団体の政策と方針 5. 政府と日本医師会との契約など 6. 健康保険制度の発足と地方医師会 7. 「療養の給付」の開始 8. 健康保険制度における「審査・査定」 9. 地方医師会の要望と被保険者の不満 他3章

海外帰国子女のアイデンティティ

生活経験と通文化的人間形成

南保輔著

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-353-7 C3036 [2000] A 5・352頁・3800円

本人・家族への詳細なインタビューから、鮮明に浮かび上がるその生活体験と内面的危機の実態。

(主要目次) 1. イントロダクション 2. アメリカ生活への不安 3. S市における日本人の子供たち 4. 家族の帰国戦略 5. 子供の帰国経験と教師のストラテジー 6. 日本の中学校と帰国子女 7. アイデンティティの再生産と浸食 8. 結語-海外帰国子女の生活経験と通文化的人間形成 付論 方法論に関する覚え書き

有賀喜左衛門研究

社会学の思想・理論・方法

北川隆吉編

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-375-8 C3036 [2000] A 5・304頁・3600円

その営為と全貌を今日の眼から追求し、現代社会学における「実証研究」の意義を明らかにする。

(主要目次) 第1部 有賀喜左衛門先生最後の講話 第2部 有賀喜左衛門・柳田国男・有賀社会学の解題(有賀先生の生涯と社会学 有賀喜左衛門と柳田国男 資料 有賀喜左衛門の資質の形成) 第3部 有賀喜左衛門論-研究報告、総括討論(研究報告 総括討論)

事例分析への挑戦

「個人」現象への事例媒介的アプローチの試み

水野節夫著

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-349-9 C3036 [2000] A 5・464頁・4600円

三つの公刊資料の分析を通じ、従来の社会学の手法では捉えがたい現代の「個人」現象の内奥に迫る。

(主要目次) 第1部 『中学生のみた昭和十年代』と個人生活史研究(見出し分析 テキストのタイプの分析 ほか) 第2部 ある告白の再解釈の試み-何が彼女に自立志向性を放棄させてしまったのか(フロイトの事例でやってみようこと ほか) 第3部 ある少女の日記に見る「生」の軌跡(課題の設定 ほか)

現代大都市社会論

分極化する都市？

園部雅久著

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-377-4 C3036 [2001] A 5・272頁・3200円

現代日本都市に見る社会的な不平等拡大＝分極化の実態は？的確な分析により21世紀東京の課題を追求。

【主要目次】 1.都市における社会的な不平等の問題 2.分極化する都市 3.東京は(分極化する都市)か？ 4.見捨てられた都市：都市とホームレス 5.トランスナショナルな社会空間：都市とエスニシティ 6.脱工業化の風景：都市とインナーシティ 終、21世紀の都市社会(学)、他2章

インナーシティのコミュニティ形成

神戸市真野住民のまちづくり

今野裕昭著

ISBN 4-88713-407-X C3036 [2001] A 5・336頁・5400円

幅のある住民連帯が現代に持つ意義とその運動の在り方を、詳細な調査を通じ追究・論考した力作。

【主要目次】 1部 都市コミュニティ(3章) 2部 インナーシティ型コミュニティ形成の社会組織―神戸市長田区真野地区(3章) 3部 真野に暮らす人たち(3章) 4部 インナーシティのコミュニティ形成(2章) むすび―コミュニティ施策・コミュニティ論の再構築にむけて

ブラジル日系新宗教の展開

異文化布教の課題と実践

渡辺雅子著

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-406-1 C3036 [2001] A 5・592頁・8200円

積年の各教団現地調査に基づき、異文化布教の実態と課題を追求。文化論としても興味尽きない力作。

【主要目次】 序 本研究の目的・視点・方法 1部 ブラジルの日系人・宗教文化 2部 日系人主体の日系新宗教(大本 金光教 立正佼成会) 3部 日系新宗教の非日系人布教(世界救世教 創価学会 霊友会) 4部 ブラジルで発生した日系新宗教(稲荷会) ブラジルにおける日系新宗教の展開とその規定要因

イスラエルの政治文化とシチズンシップ

奥山真知著

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-408-8 C3036 [2002] A 5・264頁・3800円

イスラエルの政治と国民を呪縛するシオニズム―多民族排除に繋がるこの世界危機の根源を鋭く抉る。

【主要目次】 1.イスラエルの政治文化の分析への視点 2.イスラエルのシチズンシップにみられる二重基準 3.記憶とアイデンティティ―「シチズンシップの歪み」を支える意識 4.人口・エスニシティ・教育・政治―「シチズンシップの歪み」を支える構造 5.結論

正統性の喪失

アメリカの街頭犯罪と社会制度の衰退

G. ラフリー著 宝月誠監訳

現代社会学叢書

ISBN 4-88713-441-X C3036 [2002] A 5・336頁・3600円

犯罪の激増と伝統的制度衰退の相関性を、膨大なデータ群分析を通じ解明した、犯罪社会学研究の白眉。

【主要目次】 1.戦後の犯罪動向を理解する 2.犯罪の波 3.戦後アメリカにおける犯罪者の特徴と犯罪動向 4.既存の犯罪理論の評価 5.犯罪と社会制度 6.犯罪とアメリカの政治制度 7.犯罪とアメリカの経済制度 8.犯罪とアメリカの家族の変貌 9.正統性の危機への制度的対応 10.戦後アメリカにおける犯罪と制度的正統性

新潟水俣病問題(新版)

加害と被害の社会学

飯島伸子・船橋晴俊編著 現代社会学叢書

ISBN 4-88713-320-0 C3036 [2006] A 5・336頁・3800円

本問題を社会学的に徹底糾明し好評の前版に最近の未認定患者への画期的判決等を増補した決定版。

【主要目次】 1.新潟水俣病の歴史と概要 2.加害過程の特質 3.被害者潜在化のメカニズム 4.水俣病差別とニセ患者差別 5.家族による被害の経験 6.阿賀野川流域における生活世界の変容 7.職業に関連する損失および被害の総体 8.未確認患者の長期放置と「最終解決」の問題点

— 日本労働社会学会年報 —

労働関係状況の変化に伴い新たな展開が期待される労働社会学分野の優れた論文を掲載。書評も充実している。93年度より発行・市販を小社で担当。6号より毎号特集を設け、特集名を表題とし、一層の普及を図っている。

日本労働社会学会年報4

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-180-1 C3036 [1993]
A 5 198 頁・2913 円

国境を越える労働社会

日本労働社会学会年報10
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-345-6 [1999] C3036
A 5・304 頁・3300 円

日本労働社会学会年報5

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-211-5 C3036 [1994]
A 5 190 頁・2913 円

フィールド調査"職人芸"の伝承

日本労働社会学会年報11
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-378-2 [2000] C3036
A 5・288 頁・3300 円

「企業社会」の中の女性労働者

日本労働社会学会年報6
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-227-1 C3036 [1995]
A 5 224 頁・2913 円

ゆらぎのなかの日本型経営・労使関係

日本労働社会学会年報12
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-416-9 [2001] C3036
A 5・288 頁・3300 円

「企業社会」と教育

日本労働社会学会年報7
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-257-3 C3036 [1996]
A 5 192 頁・2913 円

新しい階級社会と労働者像

日本労働社会学会年報13
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-467-3 [2002] C3036
A 5・224 頁・3000 円

転換期の「企業社会」

日本労働社会学会年報8
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-282-4 C3036 [1997]
A 5 248 頁・3300 円

階層構造の変動と「周辺労働」の動向

日本労働社会学会年報14
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-524-6 [2003] C3036
A 5・256 頁・2900 円

労働組合に未来はあるか

日本労働社会学会年報9
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-316-2 C3036 [1998]
A 5 304 頁・3300 円

若年労働者 変貌する雇用と職場

日本労働社会学会年報15
日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-624-2 [2005] C3036
A 5・208 頁・2700 円

労働社会学研究

通称『学会ジャーナル』。『年版』と同じく日本労働社会学会の論集。『年報』が今日の労働社会学の成果を総合的に紹介するのに対して、『ジャーナル』は若年研究者を中心に、地道な調査研究を十分な紙幅をとって掲載。相携えて学会の発展をめざす。

労働社会学研究1

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-317-0 C3036 [1999]
B 5・80 頁・1800 円

労働社会学研究7

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-661-8 C3036 [2006]
A 5・104 頁・1800 円

労働社会学研究2

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-415-0 C3036 [2000]
A 5・144 頁・1800 円

労働社会学研究8

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-744-8 C3036 [2007]
A 5・96 頁・1800 円

労働社会学研究3

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-415-0 C3036 [2001]
A 5・144 頁・1800 円

労働社会学研究9

日本労働社会学会編
ISBN 978-4-88713-825-4 C3036 [2008]
A 5・184 頁・2100 円

労働社会学研究4

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-510-6 C3036 [2003]
A 5・240 頁・2300 円

労働社会学研究10

日本労働社会学会編
ISBN 978-4-88713-902-2 C3036 [2009]
A 5・208 頁・2200 円

労働社会学研究5

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-548-3 C3036 [2004]
A 5・224 頁・2300 円

労働社会学研究11

日本労働社会学会編
ISBN 978-4-88713-982-0 C3036 [2010]
A 5・96 頁・1800 円

労働社会学研究6

日本労働社会学会編
ISBN 4-88713-604-8 C3036 [2005]
A 5・128 頁・1800 円

労働社会学研究12

日本労働社会学会編
ISBN 978-4-7989-0052-0 C3036 [2011]
A 5・120 頁・2000 円

社会（社会福祉・社会政策）

対人サービスの民営化

行政・営利・非営利の境界線

須田木綿子著

ISBN 978-4-7989-0056-8 C3036 [2011] A5・136頁・2300円

新たな福祉・介護の担い手・営利事業者を交えた三者の相互関係のあり方は？時宜に合った論考。

【主要目次】 1.はじめに 2.行政役割の拡大と非営利サービスの供給組織の変容 3.民営化された対人サービス領域の分析枠組み 4.民営化された対人サービスとしての介護保険制度 5.対人サービスの民営化をめぐる我が国の課題 補論

介護予防支援と福祉コミュニティ

松村直道著

ISBN 978-4-7989-0029-2 C3036 [2011] 四六・224頁・2500円

深刻な地方福祉の再建に向け、自治体と研究者の協働を通じた分権型福祉の組織化を追求する労作。

【主要目次】 1.分権型福祉社会と地方社会の課題 2.高齢者の生活スタイルと近隣居住 3.地方社会における介護保険の運営 4.地域ケアシステムと在宅ケアチームの実践 5.地域包括支援センターの構想と現実 6.介護サービス評価の展開と当事者主体の評価 終章 付論

社会的健康論

園田恭一著

ISBN 978-4-88713-988-6 C3036 [2010] A5・176頁・2500円

従来の身体的健康論から生活・社会的健康論への転換過程を精細に考察。急逝された著者の遺著。

【主要目次】 1.健康観・健康概念の諸相とその変化 2.疾病と健康 3.ライフ・スタイルと疾病・健康 4.生活の質(QOL)と疾病・健康 5.Health for All とPrimary Health Care 6.Health Promotion とHealthy Cities 7.障害と健康 8.健康・保健と日本国憲法、行政、法制度 9.健康水準・状態の把握とその変化 10.保健社会学と健康・保健、疾病・医療

保健・医療・福祉の研究・教育・実践

山手茂・園田恭一・米林喜男編

ISBN 4-88713-751-6 C3036 [2007] A5・336頁・3400円

現代の焦点的課題に立ち向かうため、その出発点から目的地まで、理念と實際を包括的に論究。

【主要目次】 第1部 社会福祉の専門性と教育 第2部 支援・援助の展開と再検討 第3部 保健・医療・福祉の現状と課題 第4部 保健・医療・福祉研究の方法と理論

社会福祉における介護時間の研究

タイムスタディ調査の応用

渡邊裕子著

ISBN 978-4-88713-963-3 C3036 [2010] A5・272頁・5400円

実態調査に基づくタイムスタディの理論と方法を追求—福祉政策の基盤をなす精密な介護時間研究。

【主要目次】 1.タイムスタディ調査による介護研究の動向と本書の課題 2.タイムスタディ調査の方法論的検討 3.タイムスタディ調査の分析① 4.タイムスタディ調査の分析② 5.社会福祉政策へのタイムスタディ調査の応用 補論 参加の段階：必要介護時間の評価のための外的基準

近代日本の衛生の展開と受容

宝月理恵著

ISBN 978-4-88713-970-1 C3036 [2010] A5・336頁・3800円

「衛生」による住民の国民化—この日本の近代国家戦略の全容を浮彫りにした充実の歴史社会学研究。

【主要目次】 序章 課題と方法 1.近代医事衛生制度の成立と衛生思想 2.学校口腔衛生の確立と歯科学の専門職化 3.衛生経験の聞き取り 4.新中間層家族における母親の衛生戦略補遺 「京城府」の衛生経験 5.身体化される／されない衛生実践 終章 近代日本の衛生経験

認知症家族介護を生きる

新しい認知症ケア時代の臨床社会学

井口高志著

ISBN 4-88713-768-4 C3036 [2007] A 5・336頁・4200円

認知症患者への人間性の接近はいかにして可能か—家族介護者の経験から拓く新たな臨床の視座。

【主要目次】 序章 呆けゆく者と生きるということ 1. 呆けゆく者への「はたらきかけ」の現在 2. 呆け/呆けゆく者への社会学的まなざし 3. 呆けゆく者への出会い 4. 家族介護を生きることの分析に向けて 5. 認知症家族介護を生きることは? 6. 介護者家族会は何を支援するのか?—他者定義への支援 (1) 他2章

改革進むオーストラリアの高齢者ケア

木下康仁著

ISBN 4-88713-770-7 C3036 [2007] 四六・224頁・2400円

利用者の個性性とシステムの合理性を両立させた、強力な在宅介護支援と公使のバランスに学ぶ。

【主要目次】 1. ソレントへ—Mrs. A. 最後の日々 2. 高齢者ケア改革の歩みと現状 3. アセスメントの実際 4. 地域在宅サービス制度—HACC 5. 包括的在宅ケアプログラム 6. 介護者支援の強化 7. 強制的競争入札制度 (CCT) の顛末 8. 文化的多様性への対応

韓国の福祉国家・日本の福祉国家

武川正吾・金淵明編

ISBN 4-88713-642-0 C3036 [2005] A 5・320頁・3200円

韓国福祉国家化の実態を報告・考察すると共に日本をはじめ東アジア福祉国家化の未来への展望を拓く。

【主要目次】 1. 韓国福祉国家性格論争 (韓国福祉国家の性格と類型 「生産的福祉」と韓国福祉国家性格論争 ほか) 2. 福祉レジームと福祉政治 (韓国社会政策の変化と持続 ほか) 3. 韓国福祉国家の動向 (国民基礎生活保障制度 ほか) 4. 国際比較のなかの日韩福祉国家 (東アジア福祉レジーム論の再検討 ほか)

福祉政策の理論と実際 (改定版)

福祉社会学研究入門

三重野卓・平岡公一編 現代社会学研究入門シリーズ

ISBN 4-88713-649-8 C3036 [2005] A 5・272頁・2500円

社会学、社会福祉学、政治学等の知見を統合して、危機に立つ福祉政策の再定置をめざす。

【主要目次】 第1部 福祉政策の計画と組織 (福祉政策の公平・効率性と社会計画 福祉政策と政府組織) 第2部 社会福祉の主体・方法・実践 (社会福祉と公私関係 地域福祉における市民参加 家族と福祉政策 ほか) 第3部 福祉国家と福祉政策 (福祉国家研究における社会学的アプローチ 福祉国家のシステム危機)

福祉国家の社会学

21世紀における可能性を探る

三重野卓編 シリーズ社会政策研究1

ISBN 4-88713-420-7 C3036 [2001] 四六・224頁・2000円

市場原理の優越の中、明日の福祉国家はどうあるべきか—福祉と社会政策の再構築をめざす新シリーズ。

【主要目次】 1部: テーマセッション—福祉国家・福祉社会研究のニューフェーズ (福祉国家・福祉社会論の社会学的文脈 連帯と承認をめぐる弁証法 グローバリゼーション論争と福祉国家 他) 2部: 討論 3部: テーマセッション、その後

福祉国家の変貌

グローバル化と分権化のなかで

小笠原浩一・武川正吾編 シリーズ社会政策研究2

ISBN 4-88713-465-7 C3036 [2002] 四六・208頁・2000円

現状の的確な分析に基づき、福祉国家の理念と体制の再編をめざす、シリーズ第2弾。

【主要目次】 第1部 グローバル化・市場化と福祉国家 (グローバルズムと反グローバルズムと 福祉国家体制の再編と市場化 グローバル化と福祉国家 ほか) 第2部 分権化と公私関係の変容 (社会福祉改革における公私関係変容の構図 「日本の公私関係」の成立と内在的制約 ほか)

福祉国家の医療改革

政策評価にもとづく選択

三重野卓・近藤克則編 シリーズ社会政策研究3

ISBN 4-88713-508-4 C3036 [2003] 四六・256頁・2000円

福祉の中核・医療問題につき英国等の政策評価を通じ、平等対効率の相克突破の方途を探る。

【主要目次】 第1部 シンポジウム—医療政策研究の新動向 (イギリスNHS改革にみる福祉国家の医療改革の行方 ほか) 第2部 報告者と討論者の対話 (医療改革の規定要因 医療改革の社会学 ほか) 第3部 フロアを交えた討論 (インフォームド・コンセントの概念への疑問 ほか) 討論 福祉社会における政策評価と健康問題

共生社会の理念と実際

三重野卓編

シリーズ社会政策研究4

ISBN 978-4-88713-812-4 C3036 [2008] 四六・224頁・2000円

様々な差異を有する主体側の協働・共生は現代の課題だ―その解決のための理論と方途を追究。

【主要目次】 第1部 共生社会論の新展開（共生謝意の構想と指標体系 障害者と共生社会政策 ほか） 第2部 報告者と討論者の対話（なぜ、共生／社会的包摂が必要なのか 共生社会論をめぐる四つの論点） 第3部 フロアを交えた討論（比較都市論からみたソーシャル・キャピタルの構造 共生価値と社会経済システム）

共生社会とマイノリティへの支援

日本人ムスリマの社会的対応から

寺田貴美代著

ISBN 4-88713-529-7 C3036 [2003] A 5・272頁・3600円

日本人ムスリマの調査から、文化摩擦を超え共生社会へと至る理論と方策を徹底追求。

【主要目次】 序章 研究の目的と方法 1. 「共生」概念の位相 2. 日本人ムスリマの概況 3. 日本人ムスリマに関する分析枠組 4. 類型の検証と変容パターンが多様化 5. 共生へ向けた支援の展開

人は住むためにいかに闘ってきたか（新装版）

欧米住宅物語

早川和男著

ISBN 4-88713-630-7 C3036 [2005] 四六・304頁・2000円

豊かで安全な住環境は住民自身の運動で初めて勝ち取られるのだ―日本の現状に的確にアピール。

【主要目次】 第1部 アメリカのデモクラシー（不動産会社が寄付したドヤ街女性センター ほか） 第2部 イギリスの社会主義（戦争便乗の家賃値上げは許さない―第一次世界大戦下グラスゴウの家賃ストライキ ほか） 第3部 フランスの居住思想（ラ・クールヌーヴの反乱 ほか） 第4部 西ドイツの住宅哲学（シュトルベルクの闘い ほか）

イギリスにおける住居管理

オクタヴィア・ヒルからサッチャーへ

中島明子著

ISBN 4-88713-473-8 C3036 [2003] A 5・480頁・7453円

わが国住居思想の転換をめざし、発展的整備を続ける英国公的住居管理の全容を詳細に紹介・論考。

【主要目次】 序論 1部 イギリスにおける住居管理の背景と内容（3章） 2部 地方自治体における住居管理（4章） 3部 住居管理への参加（4章） 補論1・2 住居管理に関する若干の日英比較 補論3 香港の公共住宅と住居管理

福祉国家とジェンダー・ポリティクス

深澤和子著

ISBN 4-88713-516-5 C3036 [2003] A 5・192頁・2800円

福祉国家体制に組込まれた女性の自律を阻む要因の分析を通じ新たな平等戦略を追求した著者の遺著。

【主要目次】 序章 福祉国家におけるジェンダー関係 Ⅰ部 福祉国家のジェンダー分析の到達点と課題（2章） Ⅱ部 女性労働政策から見た新しいジェンダー関係構築に関する分析傾向（2章） Ⅲ部 社会保障制度における新しいジェンダー関係構築に関する分析視角（2章） 結論 補論1、2、ほか。

福祉社会学研究

福祉社会学会の機関誌として、学会会員による社会保障、社会福祉、医療・保健、社会計画、社会問題等の分野の優れた研究論文等を掲載し、これら現代の中核的課題に向けた研究の一層の発展を目指す。小社が刊行・市販を担当し年1刊。

福祉社会学研究 1

(特集) I 福祉社会学の日本的展開 II 福祉社会学研究のフロンティア

福祉社会学会編

ISBN 4-88713-560-2 C3036 [2004]

A 5・264頁・1905円

福祉社会学研究 5

(特集) 東アジア福祉社会の可能性

福祉社会学会編

ISBN 978-4-88713-843-8 C3036 [2008]

A 5・168頁・1905円

福祉社会学研究 2

(特集) I 福祉社会の可能性 II 諸外国の福祉政策に関する展望

福祉社会学会編

ISBN 4-88713-619-6 C3036 [2005]

A 5・176頁・1905円

福祉社会学研究 6

(特集) 介護労働のグローバル化と介護の社会化

福祉社会学会編

ISBN 978-4-88713-921-3 C3036 [2009]

A 5・184頁・1905円

福祉社会学研究 3

(特集) ソーシャル・ガバナンスの可能性

福祉社会学会編

ISBN 4-88713-698-6 C3036 [2006]

A 5・192頁・1905円

福祉社会学研究 7

(特集) 「共助」の時代・再考

福祉社会学会編

ISBN 978-4-88713-980-0 C3036 [2010]

A 5・240頁・1905円

福祉社会学研究 4

(特集) 福祉社会の基盤を問う

福祉社会学会編

ISBN 4-88713-767-7 C3036 [2007]

A 5・224頁・1905円

福祉社会学研究 8

(特集) 小規模・高齢化集落の生活・福祉課題と持続可能性

福祉社会学会編

ISBN 978-4-7989-0067-4 C3036 [2011]

A 5・216頁・1905円

社会政策研究

従来さまざまな学会、学部、研究所に分散していた、社会福祉、社会保障、社会政策等の分野の気鋭の研究者を糾合し、現代の中核的課題である「社会政策」研究の一層の発展をめざす研究誌。新たな展開へ向け10号にて一旦刊行終了。

社会政策研究 1

特集：社会政策研究のフロンティア

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 4-88713-379-2 C3036 [2000]

A 5・192頁・2381円

社会政策研究 7

特集：市民活動・NPOと社会政策

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 4-88713-747-9 C3036 [2007]

A 5・272頁・2381円

社会政策研究 2

特集：家族・ジェンダーと社会政策

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 4-88713-419-3 C3036 [2001]

A 5・272頁・2381円

社会政策研究 8

特集：格差論再考

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 978-4-88713-837-7 C3036 [2008]

A 5・352頁・2500円

社会政策研究 3

特集：生活の質研究(QOL)と社会政策

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 4-88713-419-9 C3036 [2002]

A 5・230頁・2500円

社会政策研究 9

特集：貧困化する日本と政策課題

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 978-4-88713-910-7 C3036 [2009]

A 5・220頁・2800円

社会政策研究 4

特集：障害者と社会政策

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 4-88713-544-0 C3036 [2004]

A 5・352頁・2800円

社会政策研究10

特集：社会政策研究のニューフロンティア

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 978-4-88713-997-8 C3036 [2010]

社会政策研究 5

特集：NPMと社会政策

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 4-88713-594-9 C3036 [2005]

A 5・216頁・2500円

社会政策研究 6

特集：社会保障改革のホットイシュー

『社会政策研究』編集委員会編

ISBN 4-88713-673-0 C3036 [2006]

A 5・288頁・2600円

— 居住福祉ブックレット —

安全で安心できる居住は、健康や福祉ひいては社会の基盤であるという趣旨のもと、様々なテーマや視点から成る「住むこと」に関わる諸問題を、具体的にわかりやすく述べ、わが国の「居住福祉」の増進をめざす。

居住福祉資源発見の旅

新しい福祉空間、懐かしい癒しの場

早川和男著

居住福祉ブックレット1

ISBN 4-88713-658-7 C3336 [2006] 四六・112頁・700円

寺社や町中の憩いの場など専門施設以外の思いがけぬ福祉空間歴訪の記。居住福祉ブックレット第1弾。

(主要目次) 1 寺社(「おばあちゃんの原宿」とげ抜き地藏) 2 暮らしの中の居住福祉資源(懐かしさに癒される銭湯 人生をとりもどす住居ほか) 3 公共・公益施設(無人駅に集う高齢者たちローカル線・路面電車の福祉機能ほか) 4 村と町を居住福祉空間にする(「ニュータウンの再生」ほか)

どこへ行く住宅政策

進む市場化、なくなる居住のセフティネット

本間義人著

居住福祉ブックレット2

ISBN 4-88713-659-5 C3336 [2006] 四六・80頁・700円

公共住宅政策を捨てた日本! 戦後の住宅政策を顧み、市場化の名を借りた国の無責任体制を糾弾する。

(主要目次) 1 戦後住宅政策の終焉-なくなる居住のセフティネット 2 戦後住宅政策の成立 3 戦後住宅政策の展開-一戸でも多くの戸数主義 4 戦後住宅政策の転換-高度成長、地価高騰のもとで 5 戦後住宅政策の崩壊-景気対策から市場化路線へ 6 住宅政策のゆくえ-居住福祉実現の一步として

漢字の語源にみる居住福祉の思想

李桓著

居住福祉ブックレット3

ISBN 4-88713-660-9 C3336 [2006] 四六・80頁・700円

漢字の原意が示す東洋の居住思想の考察を通じ、居住と福祉の不即不離の関係を明らかにする。

(主要目次) 序 なぜ「居住福祉」なのか 1 漢字の語源にみる居住福祉の思想(語源を捜し求める目的「居」の成り立ちと意味「宀」冠の付く家屋関係の漢字について ほか) 2 風水理論にみる居住福祉の思想(なぜ「風水」をみるのか 風水の究極的目的 居住環境の影響と福祉力 ほか) おわりに「居住福祉社会」の構築へ向けて

日本の居住政策と障害者をもつ人

大本圭野著

居住福祉ブックレット4

ISBN 4-88713-676-5 C3336 [2006] 四六・80頁・700円

障害者の自立はまず住居から。進まぬ我が国の障害者住居政策を批判し、その課題を明示する。

(主要目次) 1 ノーマライゼーション原理と国連社会権規約委員会の「居住の権利」 2 ノーマライゼーション、ソーシャル・インクルージョンに基づく居住政策 3 わが国における障害をもつ人への居住政策 4 わが国自治体におけるユニバーサル基準のまちづくり おわりに-わが国の政府および自治体の課題

障害者・高齢者と麦の郷のこころ

住民、そして地域とともに

居住福祉ブックレット5

伊藤静美・田中秀樹・加藤直人著

ISBN 4-88713-677-3 C3336 [2006] 四六・96頁・700円

「麦の郷」の多様な福祉活動展開の歴史を通じて明らかにされる、活動の意義、仕組み、問題点等のすべて。

(主要目次) 1 人が地域で暮らすということ? 居住福祉を考える 2 地域とともに 3 なぜ、障害者施設の麦の郷が? 高齢者問題に取り組むのか? 4 限界から新たな広がり、地域へ 5 障害者自立支援法と麦の郷 6 麦の郷のこれからの課題

地場工務店とともに

健康住宅普及への途

山本里見著

居住福祉ブックレット6

ISBN 4-88713-682-X C3336 [2006] 四六・80頁・700円

事故や病気を防ぐ健康住宅普及のため、現場工務店の組織化、技術向上をめざす約20年の活動記。

(主要目次) 1 日本の住宅の問題点(住宅内事故での死亡者が多い 家が原因の病気 短命の住宅) 2 健康住宅とはなにか(快適な住み心地(温度、湿度など) 家が原因の怪我、事故にあわない 家が原因の病気にならない 健全な家族関係を維持する 家そのものも病気にならない) 3 地場工務店よ、勉強しよう! 他

子どもの道くさ

水月昭道著

居住福祉ブックレット7

ISBN 4-88713-683-8 C3336 [2006] 四六・96 頁・700 円

安全確保専一は子どもの成長を阻害する！実際に基づき道くさの意義と地域環境改善の要を力説。

【主要目次】序 子どもをめぐる問題の所在 1 改めて道くさの意義について 2 子どもにとって道くさとは 3 子どもの道くさの特徴 4 子ども道くさワールド-調査からの分類 5 子供への接し方考える 6 地域環境への視点 7 安全で安心な道くさの実現のために

居住福祉法学の構想

吉田邦彦著

居住福祉ブックレット8

ISBN 4-88713-692-7 C3336 [2006] 四六・112 頁・700 円

都市・地方を問わず居住の現場の問題点追及に基づき、居住に関する法の総合的再構築をめざす。

【主要目次】1 総論-「居住福祉法学」の問題意識 2 借地借家問題(各論その一) 3 マンションの共同管理問題など(各論その二) 4 ホームレス問題(各論その三) 5 災害復興(各論その四) 6 中山間地の居住福祉(各論その五) 7 居住差別問題(各論その六) もっと知りたい方のために

奈良町の暮らしと福祉

市民主体のまちづくり

黒田睦子著

居住福祉ブックレット9

ISBN 4-88713-693-5 C3336 [2006] 四六・96 頁・700 円

景観と暮らしが共存する町をめざし、市民活動により風化してゆく街を甦らせた26年に及ぶ活動記録。

【主要目次】1 まちづくりの主役は市民(奈良町再生活動と私町並みはみんなのもの ほか) 2 自分たちの町は自分たちで創る(奈良まちづくりセンターの活動ほか) 3 地域固有の風景・景観は国民共有の資産(突然の理事長就任と奈良町の現在 ほか) 4 町並みと暮らしが共存する町を目指して(この町に子どもは残るかほか)

精神科医がめざす近隣力再建

進む「子育て」砂漠化、はびこる「付き合い拒否」症候群

中澤正夫著

居住福祉ブックレット10

ISBN 4-88713-708-7 C3336 [2006] 四六・80 頁・700 円

子育てにも高齢化にも近隣との付き合いが不可欠である。「群れの文化」再生を求める精神科医の切言。

【主要目次】1 ヒトはどんな動物か-比較生物学から見た「ヒト」 2 現実とは何か 3 近隣力-近隣は豊かな子育ての涵養林であった 4 近隣形成に挑戦した人たちの系譜 5 EUの危機感 6 我が国の街づくり 7 国が変わるのを待ってはられない

住むことは生きること

鳥取県西部地震と住宅再建支援

片山善博

居住福祉ブックレット11

ISBN 4-88713-711-7 C3336 [2006] 四六・80 頁・700 円

被災個人住宅再建に公費援助を断行した知事の決断。その経験と居住福祉推進にもたらした意義。

【主要目次】1 鳥取県西部地震の体験 2 住宅再建支援への取り組み 3 災害復興は何か重要か 補論1 居住福祉と自治体の出来ること 補論2 鳥取県西部地震災害における住宅再建・公的支援の意味

最下流ホームレス村から日本を見れば

ありむら潜絵・文

居住福祉ブックレット12

ISBN 4-88713-736-3 C3336 [2007] 四六・96 頁・700 円

釜ヶ崎で支援活動に当たる著者が自作マンガを交え居住の安定こそ鍵であると明確に解き明かす。

【主要目次】1 実態(最下流の人々・その住み方 新たな人々が次々と流れ着く あなたも「ホームレス」にあてはまるかも ほか) 2 対策を考える(「居住のはしご」論で野宿から遠ざかる ホームレス自立支援センターの役割と限界 ほか) 3 まちづくりとともに(ホームレス対策のゴールってどこ? アルコール依存症も居住安定から ほか)

世界の借家人運動

あなたは住まいのセーフティネットを信じられますか?

高島一夫著

居住福祉ブックレット13

ISBN 4-88713-760-8 C3336 [2007] 四六・112 頁・700 円

持家志向に歪められたわが国の公共住宅政策の貧困を、世界各国との比較の下鋭利に分析・批判。

【主要目次】1 なぜ、いま借家人運動を取り上げるか? (仕組まれた「持家志向」 歪んだ公共賃貸住宅政策 ウィーンの社会住宅 ほか) 2 国際借家人連合(国際借家人運動の歴史とIUTの結成 国際借家人連合(IUT)の目的、ほか) 3 各国借家人団体について(スウェーデン オランダ ドイツ 日本 アメリカ等) 4 参考資料「借家人憲章」

「居住福祉学」の理論的構築

柳中権・張秀萍著・
李桓訳

居住福祉ブックレット14

ISBN 4-88713-774-5 C3336 [2007] 四六・64頁・700円

体系を備えた学問としての「居住福祉学」はどうあるべきか—その理念と方法を追究する意欲作。

(主要目次) 1 歴史的にみる住居の福祉的な役割、世界にみる「居住福祉」への志向 2 「居住福祉学」を展開するための理論 3 「居住福祉学」の理論的な枠組み

居住福祉資源発見の旅Ⅱ

地域の福祉力・教育力・防災力

早川和男著

居住福祉ブックレット15

ISBN 978-4-88713-822-3 C3336 [2008] 四六・128頁・700円

頼いの場にとどまらず防災・防犯・教育にも貢献する施設や空間発見を続ける全国歴訪記第2弾。

(主要目次) 1. 生活・福祉施設は防災資源 2. 社寺は地域の居住福祉資源 3. 子どもを見守る 4. 商店街を居住福祉空間にする 5. 障害者が住むまちの豊かさ 6. 自然は居住福祉資源 7. 「居住福祉」は「安居楽業」 付論 中国の健康公園

居住福祉の世界

早川和男対談集

早川和男著

居住福祉ブックレット16

ISBN 978-4-88713-879-7 C3336 [2009] 四六・128頁・700円

居住こそ福祉の根源—各界多彩な対談者：隅谷三喜男・山田洋次・小田実・古屋和雄・西橋正泰。

(主要目次) 一 社会保障の中の居住福祉(隅谷三喜男・早川和男) 二 貧さんの住居論(山田洋次・早川和男) 三 日本の都市は災害に強くなったか(小田実・早川和男) 四 わたしの新幸福論(古屋和雄・早川和男) 五 命を守る居住福祉(西橋正泰・早川和男)

医療・福祉の沢内と地域演劇の湯田

岩手県西和賀町のまちづくり

高橋典成・金持伸子著

居住福祉ブックレット17

ISBN 978-4-88713-917-6 C3336 [2009] 四六・128頁・700円

豪雪・多病・貧困の悪循環を克服、村民と行政一体で新たな町づくりを推進した東北二村の記録。

(主要目次) 一、「平成の大合併」で生まれた岩手県西和賀町 二、旧沢内の村づくり理念とその歴史をたどる 三、旧沢内村における地域福祉実践 四、旧湯田町の演劇活動とまちづくり 五、「結い」によるまちづくりを考える

「居住福祉資源」の経済学

神野武美著

居住福祉ブックレット18

ISBN 978-4-88713-939-8 C3336 [2009] 四六・104頁・700円

居住福祉資源とされる公共的空間は、単に癒やしの場以上に新たな産業創出の場であることを力説。

(主要目次) 一、はじめに 二、経済発展の曲がり角 三、居住福祉資源の哲学 四、「近代化」で失われたもの 五、歴史的な蓄積が社会を変える 六、新しい機軸の形成 七、民主主義の戦略

長生きマンション・長生き団地

千代崎一夫・山下千佳

居住福祉ブックレット19

ISBN 978-4-88713-972-5 C3336 [2010] 四六・116頁・800円

日本の集合住宅をより快適に長く住めるようにすることが福祉の基盤だ。そのためのノウハウを満載、

(主要目次) はじめに 1. 住まい 2. ドイツに行って 3. 長生きマンション・長生き団地 4. 建て替えの問題点 5. 様々な課題 6. マンションエイジャー 7. マンションは民主主義の学校 8. マンション・団地のこれから むすび 参考資料

高齢社会の住まいづくり・まちづくり

蔵田力著

居住福祉ブックレット20

ISBN 978-4-7989-0005-6 C3336 [2010] 四六・104頁・700円

従来的手法を抜本的に改め、高齢社会に適した属性・地域の在り方を自らの建設経験を通じ提示。

(主要目次) 1. 商店街が頑張る“まちづくり” 2. 地域の企業・工業者が参加する“まちづくり” 3. 住民と専門家の地域ネットワーク 4. 先進的な地域の社会福祉協議会がすすめる“まちづくり” 5. 高齢者のための施設づくり 6. “まちづくり”における公共住宅の位置づけ 7. “まちづくり”におけるコーポラティブハウスの可能性 ほか

居住福祉研究

すべての人が安心して生きられる「居住福祉社会」の実現を目指す学際的な学会として2001年発足した日本居住福祉学会の機関誌。2008年より小社で発行・市販を担当し、さらに研究の一層の充実を期し2009年より年2回刊。

居住福祉研究6

日本居住福祉学会編
ISBN 978-4-88713-841-4 C3036 [2008]
A 5・208頁・2000円

居住福祉研究10

日本居住福祉学会編
ISBN 978-4-7989-0028-5 C3036 [2010]
A 5・104頁・1000円

居住福祉研究7

日本居住福祉学会編
ISBN 978-4-88713-918-3 C3036 [2009]
A 5・128頁・1500円

居住福祉研究11

日本居住福祉学会編
ISBN 978-4-7989-0064-3 C3036 [2011]
A 5・104頁・1000円

居住福祉研究8

日本居住福祉学会編
ISBN 978-4-88713-955-8 C3036 [2009]
A 5・104頁・1000円

居住福祉研究12

日本居住福祉学会編
ISBN 978-4-7989-0087-2 C3036 [2011]
A 5・112頁・1000円

居住福祉研究9

日本居住福祉学会編
ISBN 978-4-88713-991-6 C3036 [2010]
A 5・104頁・1000円

社会（地域社会学）

地域社会学の視座と方法

地域社会学講座1

似田貝香門監修

ISBN 4-88713-678-1 C3036 [2006] A5・256頁・2500円

グローバル化の地域社会の相克を中核テーマに地域社会学会30年の営為を結集した新講座第1巻。

〔主要目次〕第1部 地域社会学の形成と展開（地域社会と地域社会学 “農村・都市”の社会学から地域社会学へ ほか）
第2部 地域社会研究への複合的視座-基本概念と研究視角（地域社会の編成と再編 地域社会の構造と空間 ほか）
第3部 実践としての地域社会学（地域フィールドワーク実践と地域社会学 ほか）

グローバリゼーション/ポスト・モダンと地域社会

地域社会学講座2

古城利明監修

ISBN 4-88713-679-X C3036 [2006] A5・256頁・2500円

近代の極限・グローバル化の中における可視的生活空間としての地域再生の動き。講座第2巻。

〔主要目次〕第1部 マクロトレンドと地域社会（ポストモダンとしての地域社会 ほか）
第2部 移動から見た地域社会（世界の移動と定住の諸過程 ほか）
第3部 地域社会の破壊と再生の諸相（グローバリゼーションと日本の地場産業 ほか）
第4部 新たな公共性の創出にむけて（いくつものもうひとつの地域社会へ ほか）

地域社会の政策とガバナンス

地域社会学講座3

岩崎信彦・矢澤澄子監修

ISBN 4-88713-680-3 C3036 [2006] A5・304頁・2700円

地域社会再生のための画一的国家行政を超え、多様なアクターを交えた政策形成へ。講座第3巻。

〔主要目次〕第1部 地域政策の展開と地域の変容（戦後日本の地域政策 ほか）
第2部 地域の変容と住民活動の展開（子育て、教育をめぐる運動の展開 ほか）
第3部 地域ガバナンスと地域社会学の技法（地域政策と地域ガバナンス 地域政策の策定の技法 ほか）
政策形成・評価のツールの開拓

地域社会研究と社会学者群像

社会学としての闘争論の伝統

橋本和孝著

ISBN 978-4-7989-0089-6 C3036 [2011] A5・416頁・5900円

高度成長期社会変動の諸相の多角的分析と、「闘争論」に立脚して変動を考察した社会学者群像。

〔主要目次〕第1部 高度成長と地域社会研究 序章 経済成長の変化と地域社会研究 1.大都市郊外地区のコミュニティづくり 2.大都市郊外地区の都市再開発とコミュニティ形成 他4章 第2部 マクロ社会学者たち—闘争論の伝統 序章 闘争論に立つ社会学者群像 1.ロバート・S・リンダ 他3章 付論1～3

都市社会計画の思想と展開

アーバンソーシャルプランニングを考える I

橋本和孝・藤田弘夫・吉原直樹編

ISBN 978-4-88713-941-1 C3036 [2009] A5・224頁・2300円

今求められる総合的社会計画の一環としての都市計画の思想と方法を理論と実際の両面から追求。

〔主要目次〕1.都市社会計画の方法的視座（橋本和孝） 2.日本における地域開発の沿革とゆくえ（高橋一得） 3.迷路と蜘蛛の巣を生み出す都市計画（藤田弘夫） 4.地方自治体のガバナンス（新川達郎） 5.縮む都市と地域福祉（内藤辰美） 6.まちづくりの論理と倫理（吉原直樹）

世界の都市社会計画

グローバル時代の都市社会計画

アーバンソーシャルプランニングを考える II

橋本和孝・藤田弘夫・吉原直樹編

ISBN 978-4-88713-876-6 C3036 [2008] A5・200頁・2100円

ハード面に傾斜した都市計画を見直し、福祉、環境等含む総合的計画として都市の在り方を考察。

〔主要目次〕1.都市社会計画の比較社会学（藤田弘夫） 2.イギリスの都市社会計画（西山八重子） 3.大都市のグローバル化と統合計画（水上徹男） 4.激変する都市と社会制度の再編（熊田俊郎） 5.首都一極集中の社会編成（小林照夫） 6.（プライメイト・シティとアジア・メガシティの間（吉原直樹） 7.（団地都市、社会学と反福祉国家（橋本和孝）

沖縄の人口問題と社会的現実

若林敬子著

ISBN 978-4-88713-908-4 C3036 [2009] A 5・248頁・3200円

その高出生・長寿命等本土と異なる沖縄の人口問題の実態と内包する意味を追求した労作。

【主要目次】 1. 沖縄県人口の変動・転換と過剰人口 2. 沖縄県人口動態の特色—高出生・長寿命の要因をめぐって 3. 歴史的視点からみた沖縄人口 4. 国際的視点からみた沖縄人口 5. 名護市東海岸の久志過疎集落と海上ヘリポート基地建設 6. 離島人口—島別人口推移と高齢化 付章 海岸線保全・入浜権と読谷村

中国の人口移動と社会的現実

馮文猛編 日本村落研究学会研究奨励賞(2009年度)

ISBN 978-4-88713-905-3 C3036 [2009] A 5・256頁・3200円

激しく展開する農村から都市への大量の人口移動がもたらすものは—日本留学中国研究者の力作。

【主要目次】 1. 人口移動をめぐる理論と先行研究 2. 中国における戸籍制度 3. 中国国内の人口流動におけるマクロ分析 4. 流入先地における出稼労働者の生活実態 5. 流入先地における出稼労働者の生活実態 6. 流入先地における出稼労働者の生活実態 7. 人口流出による農村家族及び村落への影響 他3章

神田神保町とヘイ・オン・ワイ

古書とまちづくりの比較社会学

大内・熊田・小山・藤田編

ISBN 978-4-88713-851-3 C3036 [2008] 四六・320頁・2500円

観光と密接に関連して英国や日本で胎動している「ブックタウン」という新たな可能性を探る。

【主要目次】 第1部 イギリス・ヨーロッパの古書のまちづくり 1. 古書の町とまちづくり 2. ヘイ・オン・ワイの古書店とインターネット 第2部 日本の古書のまちづくり 3. 本屋仲間 4. 日本の古書店分布と地方古書の町の可能性 5. 「ブックタウン」という試み 記録：古本屋の生の声

東アジアの家族・地域・エスニシティ

基層と動態

北原淳編

ISBN 4-88713-592-0 C3036 [2009] A 5・352頁・4800円

固有の社会構造を持ちながら今や共通性を増す諸社会変容の相を、日本を含め的確に比較・検証。

【主要目次】 総論 東アジア地域社会の構造と変動 第1部 家族(現代日本における家業の展開 他6章) 第2部 地域(現代日本農村の女性集団 日本の村落管理社会と森林管理の展開 他5章) 第3部 エスニシティ(可変する村と人 ルアンパバーンの牛・水牛肉流通と黒タイ来住民 他2章)

戦後日本の地域社会変動と地域社会類型

都道府県・市町村を単位とする統計分析を通して

小内透著

ISBN 4-88713-235-2 C3036 [1996] A 5・448頁・7961円

従来の方法では把握できない戦後日本の地域社会を豊富なデータ分析から浮彫にした労作。

【主要目次】 地域社会研究と地域社会類型 地域社会類型設定の方法 都道府県・市町村における地域基礎構造の変動と地域社会類型 地域社会類型と家族・世帯構成 同職場組織 同学歴水準 同階級構成 戦後日本の地域社会変動と地域社会のマクロな全体構造、他1章 資料

倉敷・水島/日本資本主義の展開と都市社会(3分冊)

繊維工業社会から重化学工業段階へ；社会構造と生活様式変動の論理

布施鉄治編著

ISBN 4-88713-140-2 C3036 [1992] A 5・123頁・15000円

「日本の縮図」倉敷を焦点に、激動する現代産業社会の実態を総合的に精査・分析した記念碑的労作。

【主要目次】 第1分冊 水島重化学コンビナート創設と地域社会変動 第2分冊 倉敷・水島・玉島/繊維産業都市の変動 第3分冊 都市地域社会と生活様式変動の論理

——コミュニティ政策——

従来の行政主導を超えた市民による自主的まちづくりをめざし、住民・学界・行政の垣根を払い、様々な実際体験を踏まえ、三者協働してコミュニティ問題に取り組む研究誌。

コミュニティ政策 1

コミュニティ政策学会・研究フォーラム編
ISBN 4-88713-509-2 C3036 [2003]
A 5・128 頁・1500 円

コミュニティ政策 6

コミュニティ政策学会編
ISBN 978-4-88713-850-6 C3036 [2008]
A 5・192 頁・2000 円

コミュニティ政策 2

コミュニティ政策学会・研究フォーラム編
ISBN 4-88713-566-1 C3036 [2004]
A 5・208 頁・2000 円

コミュニティ政策 7

コミュニティ政策学会編
ISBN 978-4-88713-927-5 C3036 [2009]
A 5・168 頁・1700 円

コミュニティ政策 3

コミュニティ政策学会編
ISBN 4-88713-622-6 C3036 [2005]
A 5・240 頁・2400 円

コミュニティ政策 8

コミュニティ政策学会編
ISBN 978-4-7989-0006-3 C3036 [2010]
A 5・208 頁・2200 円

コミュニティ政策 4

コミュニティ政策学会編
ISBN 4-88713-696-X C3036 [2006]
A 5・192 頁・2000 円

コミュニティ政策 9

コミュニティ政策学会編
ISBN 978-4-7989-0073-5 C3036 [2011]
A 5・168 頁・2000 円

コミュニティ政策 5

コミュニティ政策学会編
ISBN 4-88713-771-4 C3036 [2007]
A 5・144 頁・1600 円

社会（環境）

公害被害放置の社会学

イタイイタイ病・カドミウム問題の歴史と現在

飯島伸子・渡辺伸一・藤川賢著

ISBN 978-4-88713-800-1 C3036 [2007] A 5・392頁・3600円

公害問題の再検証を通じ表面的解決後も放置被害者が続出するわが国の社会的問題点を鋭く抉る。

(主要目次) 1.被害放置に着目する意味 2.イタイイタイ病の発見はなぜ遅れたのか 3.公害病を否定する政治 4.否定された公害病 5.予防と放置 6.イタイイタイ病医学研究班の社会学 7.富山で今、問われていること 8.農業被害はなぜ軽視されるのか 9.食品中カドミウム濃度基準の現在 ほか

新潟水俣病問題（新版）

加害と被害の社会学

飯島伸子・船橋晴俊編著 現代社会学叢書

ISBN 4-88713-320-0 C3036 [2006] A 5・336頁・3800円

本問題を社会学的に徹底糾明し好評の前版に最近の未認定患者への画期的判決等を増補した決定版。

(主要目次) 1.新潟水俣病の歴史と概要 2.加害過程の特質 3.被害者潜在化のメカニズム 4.水俣病差別とニセ患者差別 5.家族による被害の経験 6.阿賀野川流域における生活世界の変容 7.職業に関連する損失および被害の総体 8.未確認患者の長期放置と「最終解決」の問題点

新潟水俣病をめぐる制度・表象・地域

関礼子著

ISBN 4-88713-481-9 C3036 [2003] A 5・384頁・5600円

被害の輪郭を曖昧にした、制度や関係者の意識の揺れ—「社会的な病」の視点による公害の全方位的追求。

(主要目次) 1.水俣病の社会的性格をめぐる問題群 2.水俣病の社会化と表象 3.幻の水俣病問題と新潟水俣病 4.水俣病の制度化と未認定患者問題 5.典型的な被害集積地域とその運動 6.被害の日常性と被害者運動 9.「制度と表象の水俣病」から「地域と日常の水俣病」理解へ、他2章

新潟水俣病問題の受容と克服

堀田恭子著

ISBN 4-88713-425-8 C3036 [2002] A 5・336頁・4800円

極限の惨苦をどう乗り越えたのか—事実の集積を超え被害者の実存的生に迫る、貴重な調査と考察。

(主要目次) 序.主題と方法 1.阿賀野川と地域社会 2.高度経済成長期の阿賀野川流域 3.新潟水俣病問題の概要 4.認定患者と未認定患者 5.認定患者の生活世界の変容とその再構築過程 6.未認定患者の生活世界の変容とその再構築過程 7.新潟水俣病問題と受容—克服過程

現代環境問題論

理論と方法の再 positioning のために

井上孝夫著

ISBN 4-88713-380-4 C3036 [2001] A 5・224頁・2300円

何が真の問題か？ 安易で実効のないブーム的環境論を鋭く抉り、長期的展望の下環境問題の深層へ。

(主要目次) I部 総論：1.環境社会学的方法的視点、他1章 II部 ゲームと共生の理論をめざして：3.社会的ジレンマ論の検討、他2章 III部 所有論を超えて：6.生活環境主義の検討、他2章 IV部 環境問題の深層へ：9.環境問題の深層次元と環境保全型社会の展望

日本の環境保護運動

長谷敏夫著

ISBN 4-88713-458-4 C3036 [2002] A 5・208頁・2500円

公害反対運動に始まる日本の環境運動を具体的に総括し、世界の運動状況を通じ明日への課題を展望。

(主要目次) I部：日本の環境保護運動（日本の環境保護運動 OECD「日本の経験」を読んで） 2部：地域での取り組み（原子力発電所と住民運動 開発と環境、他） 3部：国際的規模の運動（熱帯雨林とNGO 地球環境とNGO オランダの環境保護運動他） 4部：環境保護運動の意義

社会（文化・宗教）

日本の社会参加仏教

法音寺と立正佼成会の社会活動と社会倫理

ランジャンナ・ムコパディヤーヤ著

日本宗教学会賞受賞（2005年度）

ISBN 4-88713-578-5 C3036 [2005] A 5・448頁・4762円

社会へ飛び込み社会を動かす新たな仏教の動態を精細に描き切ったインド出身の女性研究者の力作。

（主要目次）「社会参加仏教」とは何か 第1部 日本の社会参加仏教への問い 第2部 社会参加仏教としての法音寺 第3部 社会参加仏教としての立正佼成会 社会参加仏教の今後の課題および展望

現代タイにおける仏教運動

タンマガーイ式瞑想とタイ社会の変容

矢野秀武著

日本宗教学会賞受賞（2006年度）

ISBN 4-88713-668-4 C3036 [2006] A 5・384頁・5600円

現代消費文明の只中で展開する新たな宗教運動の経緯・思想・動態の全てを活写した気鋭の力作。

（主要目次）課題と方法 第1部 近代初頭の宗教行政とタイ仏教：パークナム寺の事例 第2部 消費社会とタイ仏教：タンマガーイ寺の事例 第3部 タイ仏教の変容と自己・社会関係の再構築

新ツーリズム学原論

自由時間社会の豊かさの質とは

ツーリズム学会編集委員会編

ISBN 4-88713-669-2 C3036 [2006] A 5・304頁・2600円

「自由時間」が生の中核をなす新たな社会の実現をめざし多角的具体的に切り拓くツーリズムの新天地。

（主要目次）ツーリズムとツーリズム研究の諸前提 第1部 ツーリズム研究の新天地 第2部 ツーリズムの新しい動向とイメージの変容 第3部 ツーリズムを演出する 第4部 持続可能なツーリズム 資料編

50代から夢さがし

旅、学び、シニア・ビジネス

小向敦子著

ISBN 4-88713-577-7 C1037 [2005] A 5・176頁・1800円

「シニア」の到来を本来の自分を取り戻すためのチャンスに変える、哲学・ヒント・データ満載。

（主要目次）1. シニアと旅（シニアの世紀 観光の世紀 シニアが旅をする理由 ほか） 2. シニアと学び（シニアによる生涯学習が盛んになる世紀 シニアの大学（各国編 国内編） ほか） 3. シニア故のあれこれ（国内派シニアの移動 海外派シニアへ：留意点と対処法ほか） 4. シニア発ルネサンス（人生再考の岐路に立つ今 ほか）

未来を拓く人文・社会科学シリーズ

日本学術振興会が実施した「人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業（人社プロジェクト）」を基盤に、未来社会をデザインしていくための知的基盤を提供すべく、諸学協働で今日の様々な焦点的問題群に取り組んだ「知の新しい道しるべ」。第1期14巻、第2期3巻、他に別巻2点。

科学技術ガバナンス

城山英明編 未来を拓く人文・社会科学シリーズ1

ISBN 978-4-88713-789-9 C0330 [2007] 四六・224頁・1800円

科学技術が生む便益とリスクの矛盾にどう立ち向かうか—注目の日本学術振興会研究成果第1弾。

【主要目次】 1. 科学技術の発展と社会的含意 2. 科学技術ガバナンスの機能と組織 3. リスクガバナンス 4. 安全保障ガバナンス 5. 研究ガバナンス 6. “座談会” 社会のなかの科学技術—これからの課題

ボトムアップな人間関係

心理・教育・福祉・環境・社会の12の現場から

サトウタツヤ編 未来を拓く人文・社会科学シリーズ2

ISBN 978-4-88713-790-5 C0330 [2007] 四六・176頁・1600円

今日の非対称の人間関係を多領域にわたって見直し水平的社会の構築を目指すシリーズ第2弾。

【主要目次】 第1部 医療・教育 関係をつなぐ 第2部 環境・福祉・法・水平的人間関係のための制度設計 第3部 決断・性・安全—個人的事情から見た社会

高齢社会を生きる

老いる人／看取るシステム

清水哲郎編 未来を拓く人文・社会科学シリーズ3

ISBN 978-4-88713-791-2 C0330 [2007] 四六・208頁・1800円

家庭や地域における高齢者医療の現状と課題を捉え直し、新たな介護の在り方を多角的に考察。

【主要目次】 1. 家庭と医療現場をつなぐ（人生の終末期における医療と介護—意思決定プロセスをめぐって ほか）、2. 地域社会における生と死（「看取りの文化」の再構築へむけて—「間」へのまなざし ほか）、3. 高齢化医療システムの現状と課題（さまよえる高齢者の現実 ほか）

家族のデザイン

小長谷有紀編 未来を拓く人文・社会科学シリーズ4

ISBN 978-4-88713-807-0 C0330 [2008] 四六・224頁・1800円

少子高齢社会の現実を見据え、制度化された家族観を超えて新たな現代家族の創出をめざす。

【主要目次】 1. 家族への冒険（「出生の秘密」とは何か、継子の描かれ方 ほか） 2. ポストモダンの出産と家族（社会の変貌—リプロダクションの現在 ほか） 3. 女性と家族—少子化のゆくえ（女性の社会的地位とジェンダー・システム ほか） 4. 《座談会》家族のデザイン

水をめぐるガバナンス

日本、アジア、中東、ヨーロッパの現場から

蔵光浩一郎編 未来を拓く人文・社会科学シリーズ5

ISBN 978-4-88713-808-7 C0330 [2008] 四六・224頁・1800円

文明存続の危機を超え新たな水の秩序構築へ—多様なアクター協働による「青の革命」への展望を拓く。

【主要目次】 1. 水のガバナンスとは何か 2. 川の流域とガバナンス(1) 3. 川と流域のガバナンス(2) 4. 川と流域のガバナンスと法制度 5. ダム建設と水没移転のガバナンス 6. 国際河川のガバナンス(1) 7. 国際河川のガバナンス(2) 8. 国際河川のガバナンス(3) 9. 水のローカル・ガバナンスとグローバル・ガバナンス

生活者がつくる市場社会

久米郁男編 未来を拓く人文・社会科学シリーズ6

ISBN 978-4-88713-809-4 C0330 [2008] 四六・224頁・1800円

情報の共有と権利者としての自覚により、生活者が業者・専門家本位の現在の市場文明を変える。

【主要目次】 1. 何が問題か？ 2. 消費者がつくる市場 3. 患者がつくる市場 4. 投資家がつくる「市場」 5. 依頼者がつくる「市場」 6. 生活者がつくる持続可能な社会 7. 生活者と市場

グローバル・ガバナンスの最前線

現在と過去のあいだ

遠藤乾編 未来を拓く人文・社会科学シリーズ7

ISBN 978-4-88713-816-2 C0330 [2008] 四六・272頁・2200円

グローバル化の只中、越境してくる様々な問題群を統御するため不可欠な歴史的経験と新たな知。

【主要目次】 序章 グローバル・ガバナンスの最前線 第1部 グローバル・ガバナンスの現状把握 (1. 世界標準の形成 2. グローバル化のなかの東アジア ほか) 第II部 グローバル・ガバナンスの歴史分析 (6. 東アジアにおける自由貿易原則の浸透 7. 銀の世界 ほか) 終章 過去と現代のあいだ

資源を見る眼

現場からの分配論

佐藤仁編 未来を拓く人文・社会科学シリーズ8

ISBN 978-4-88713-817-9 C0330 [2008] 四六・256頁・2000円

徹底した現場観察が資源分配への新たな視力を鍛える。定型的開発援助を超えた人類知の可能性。

【主要目次】 序章 今、なぜ「資源分配」か 第1部 資源の発見と獲得 (1. 資源はどこにあるのか 2. 進化する資源へのまなざし ほか) 第II部 援助と資源の再分配 (4. 正しきとコストと同情のはざままで ほか) 第III部 開発の「後始末」と新しい関係性 (7. 資源への働きかけの媒介としての技術)

これからの教養教育

「カタ」の効用

葛西康徳・鈴木佳秀編 未来を拓く人文・社会科学シリーズ9

ISBN 978-4-88713-818-6 C0330 [2008] 四六・240頁・2000円

知識の集積としての教養を超え、諸学に潜在する、歴史に培われた固有の「カタ」の内面化を強調。

【主要目次】 第1部 「カタ」としての教養 (古典文献学とはどのような学問か 中世日本における「文字遣い」をめぐる歴史を録することと探求すること 儀礼が法をつくる 教養としての発信力) 第II部 教養教育の再構築に向けて (鼎談：これからの教養教育 イートンから海陽へ ハーバード・カレッジの教養教育)

「対テロ戦争」の時代の平和構築

黒木英充編著 未来を拓く人文・社会科学シリーズ10

ISBN 978-4-88713-857-5 C0330 [2008] 四六・216頁・1800円

繰り返される「大虐殺」の諸事例に学び、その予防策と人間の安全保障のあり方を総合的に追求。

【主要目次】 1. 「対テロ戦争」の克服と平和構築 2. ジェノサイドへのアプローチ 3. 歴史と現在 4. アゼルバイジャンにおけるジェノサイドをめぐる負の連鎖 5. バルカンにおける負の連鎖 6. カンボジアの大量虐殺 7. ルワンダのジェノサイド 8. イスラエルによるレバノン攻撃とその影響 9. ヒズブッラーを支持する「イスラエル市民」たち 10. アメリカの対外介入

企業の錯誤／教育の迷走

青島矢一編著 未来を拓く人文・社会科学シリーズ11

ISBN 978-4-88713-859-9 C0330 [2008] 四六・208頁・1800円

システム全体を見ぬ「改革」迷走の結果、今や日本の人材育成に生じている欠陥を具体的に検出。

【主要目次】 序章 失われた10年と人材育成・教育システムの改革 1. 学校教育の迷走 2. 企業における人材マネジメントの迷走 3. 個別教育システム間での不整合 4. 日本企業の品質管理問題と人づくりシステム 終章 全体観の欠如と個性の畏

日本文化の空間学

桑子敏雄編著 未来を拓く人文・社会科学シリーズ12

ISBN 978-4-88713-860-5 C0330 [2008] 四六・272頁・2200円

数値的・経済的地域把握を超え、伝承された知を媒介に風土が抱く価値構造の新たな認識と展開へ。

【主要目次】 1部 方法としての空間学 (1. 方法としての空間学 2. 「遊歩談議」としてのフィールドワークショッパ 3. スケッチ道場へようこそ 他4章) 2部 空間構造を読み解く (8. 佐賀平野の空間構築 9. 佐賀の水と景観 10. 嘉瀬川石井樋の再生 11. 有明海の龍宮から佐賀平野を見る 他1章)

千年持続学の構築

木村武史編著 未来を拓く人文・社会科学シリーズ13

ISBN 978-4-88713-861-2 C0330 [2008] 四六・208頁・1800円

持続を支える科学技術体系の構築と共にそれを可能にする都市・制度・価値観等、総合的に追求。

【主要目次】 1. 21世紀の千年持続学 2. 卓談：千年持続学の確立 第1部 都市の持続性から学ぶ (3. 持続学への地図 ほか) 第II部 社会制度の持続性から学ぶ (5. 南と北の「日本」をめぐる ほか) 第III部 持続可能性という価値の探求 (8. サステイナビリティ構築に向けて ほか)

多元的共生を求めて

宇田川妙子編著 未来を拓く人文・社会科学シリーズ14

ISBN 978-4-88713-869-8 C0330 [2009] 四六・216頁・1800円

具体的活動事例と市民社会の国際比較から、新たな価値観に立つ「多元的共生社会」への展望を拓く。

【主要目次】 第1部 日本における「多元的共生社会」の現在 (1. 阪神・淡路大震災が生み出した市民活動の新たな展開 ほか) 第2部 地域社会の実践現場から (3. 多言語・多文化共生のまちづくり ほか) 第3部 世界の中の日本 (9. 比較による日本の市民社会の実像 ほか)

芸術は何を越えていくのか？

沼野充義編著 未来を拓く人文・社会科学シリーズ15

ISBN 978-4-88713-892-6 C0370 [2009] 四六・216頁・1800円

境界探索による自己確認は同時に「越境」と自己変革の促しだ。この独自と多様を巡る激烈な相互作用。

【主要目次】 Ⅰ 伝統を求めて Ⅱ 私とは何か？ Ⅲ 境界を超えて [シンポジウム] 未来への郷愁-超え行くもの/とどまるもの

芸術の生まれる場

木下直之編著 未来を拓く人文・社会科学シリーズ16

ISBN 978-4-88713-893-3 C0370 [2009] 四六・256頁・2000円

作品と観客出会いの場・ミュージアム等に見る芸術生成と芸術と社会との新たな関係性。

【主要目次】 Ⅰ ミュージアムというボトス Ⅱ 文化ホール劇場、コミュニティ・カフェのある社会文化ホールについてみよう Ⅲ ミュージアムに行こう [鼎談] 日本の文化政策とミュージアムの未来

文学・芸術は何のためにあるのか？

吉岡洋・岡田暁生編著

未来を拓く人文・社会科学シリーズ17

ISBN 978-4-88713-894-0 C0370 [2009] 四六・256頁・2000円

社会と人性に芸術はどう作用しているか？効用を尋ねた果てに浮上する、無形・独自の使命と有用性。

【主要目次】 Ⅰ 芸術と社会映画は共同体とどのような関係にあるのか？ Ⅱ 芸術と心性「癒し」てくれない芸術はなぜ存在するの？ 大原 宣久芸術とは癒しなのか？ Ⅲ 芸術の創造文学・芸術は「エコ」にどのように貢献できるのか？ Ⅳ 芸術と価値芸術の価値を決めるのは誰？ [鼎談] 文学芸術は何のためにあるのか？

紛争現場からの平和構築

国際刑事司法の役割と課題

城山英明・石田勇治・遠藤乾編

未来を拓く人文・社会科学シリーズ別巻

ISBN 978-4-88713-781-3 C3032 [2007] A5・208頁・2800円

様々な紛争の現場と歴史に学びつつ、国際刑事司法法の展開を中心に平和構築の方途を幅広く追求。

【主要目次】 序 大量虐殺後の社会再建と正義 第1部 紛争の歴史から 第2部 平和構築の現場から導き出された経験知 第3部 グローバル・ガバナンスにおける国際刑事司法

〈境界〉の今を生きる

身体から世界へ・若手15人の視点

荒川・川喜田・谷川・内藤・柴田編

未来を拓く人文・社会科学シリーズ別巻

ISBN 978-4-88713-904-6 C0330 [2009] 四六・224頁・1800円

私たちと世界を繋ぎつつ隔てる様々な境界の現在を、人文・社会科学の気鋭の研究者たちが追求。

【主要目次】 第1部 境界と生きる 第2部 境界で生きる 第3部 境界が揺らぐ 第4部 境界をひらく